

有価証券報告書

(証券取引法第24条第1項に基づく報告書)

事業年度 自 平成17年4月1日
(第43期) 至 平成18年3月31日

ウシオ電機株式会社

(359061)

目次

| | 頁 |
|---------------------|----|
| 表紙 | |
| 第一部 企業情報 | 1 |
| 第1 企業の概況 | 1 |
| 1. 主要な経営指標等の推移 | 1 |
| 2. 沿革 | 3 |
| 3. 事業の内容 | 4 |
| 4. 関係会社の状況 | 6 |
| 5. 従業員の状況 | 9 |
| 第2 事業の状況 | 10 |
| 1. 業績等の概要 | 10 |
| 2. 生産、受注および販売の状況 | 12 |
| 3. 対処すべき課題 | 12 |
| 4. 事業等のリスク | 13 |
| 5. 経営上の重要な契約等 | 13 |
| 6. 研究開発活動 | 14 |
| 7. 財政状態及び経営成績の分析 | 15 |
| 第3 設備の状況 | 16 |
| 1. 設備投資等の概要 | 16 |
| 2. 主要な設備の状況 | 17 |
| 3. 設備の新設、除却等の計画 | 19 |
| 第4 提出会社の状況 | 20 |
| 1. 株式等の状況 | 20 |
| (1) 株式の総数等 | 20 |
| (2) 新株予約権等の状況 | 20 |
| (3) 発行済株式総数、資本金等の推移 | 20 |
| (4) 所有者別状況 | 20 |
| (5) 大株主の状況 | 21 |
| (6) 議決権の状況 | 22 |
| (7) ストックオプション制度の内容 | 22 |
| 2. 自己株式の取得等の状況 | 23 |
| 3. 配当政策 | 24 |
| 4. 株価の推移 | 24 |
| 5. 役員の状況 | 25 |
| 6. コーポレート・ガバナンスの状況 | 28 |
| 第5 経理の状況 | 31 |
| 1. 連結財務諸表等 | 32 |
| (1) 連結財務諸表 | 32 |
| (2) その他 | 65 |
| 2. 財務諸表等 | 66 |
| (1) 財務諸表 | 66 |
| (2) 主な資産および負債の内容 | 88 |
| (3) その他 | 90 |
| 第6 提出会社の株式事務の概要 | 91 |
| 第7 提出会社の参考情報 | 92 |
| 1. 提出会社の親会社の情報 | 92 |
| 2. その他の参考情報 | 92 |
| 第二部 提出会社の保証会社等の情報 | 93 |

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 有価証券報告書 |
| 【根拠条文】 | 証券取引法第24条第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成18年6月29日 |
| 【事業年度】 | 第43期（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日） |
| 【会社名】 | ウシオ電機株式会社 |
| 【英訳名】 | USHIO INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 菅田 史朗 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区大手町二丁目6番1号 朝日生命大手町ビル19階 |
| 【電話番号】 | 03（3242）1811（大代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員経営本部経理部長 神崎 伸一郎 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区大手町二丁目6番1号 朝日生命大手町ビル19階 |
| 【電話番号】 | 03（3242）1811（大代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員経営本部経理部長 神崎 伸一郎 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪府大阪市中央区北浜一丁目8番16号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

| 回次 | 第39期 | 第40期 | 第41期 | 第42期 | 第43期 |
|-----------------------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 決算年月 | 平成14年3月 | 平成15年3月 | 平成16年3月 | 平成17年3月 | 平成18年3月 |
| 売上高（百万円） | 81,301 | 91,937 | 99,081 | 119,159 | 129,284 |
| 経常利益（百万円） | 10,028 | 11,958 | 16,524 | 22,407 | 23,207 |
| 当期純利益（百万円） | 1,643 | 4,651 | 9,346 | 13,634 | 14,895 |
| 純資産額（百万円） | 106,838 | 105,582 | 117,726 | 129,302 | 150,533 |
| 総資産額（百万円） | 149,669 | 149,390 | 169,771 | 187,251 | 213,027 |
| 1株当たり純資産額（円） | 765.32 | 764.94 | 853.40 | 935.80 | 1,089.67 |
| 1株当たり当期純利益（円） | 11.77 | 33.14 | 67.36 | 98.89 | 107.81 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益（円） | — | — | — | — | — |
| 自己資本比率（%） | 71.4 | 70.7 | 69.3 | 69.1 | 70.7 |
| 自己資本利益率（%） | 1.6 | 4.4 | 8.4 | 11.0 | 10.7 |
| 株価収益率（倍） | 140.2 | 34.1 | 28.6 | 20.7 | 26.0 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | 7,305 | 13,394 | 7,969 | 12,408 | 9,397 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | △7,496 | △6,523 | △9,490 | △6,473 | △9,762 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円） | △2,112 | △4,117 | △1,592 | △1,758 | △3,324 |
| 現金および現金同等物の期末残高（百万円） | 22,488 | 24,771 | 20,895 | 25,436 | 22,701 |
| 従業員数（人） | 3,706 | 3,889 | 3,971 | 4,755 | 4,390 |

(2) 提出会社の経営指標等

| 回次 | 第39期 | 第40期 | 第41期 | 第42期 | 第43期 |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 決算年月 | 平成14年3月 | 平成15年3月 | 平成16年3月 | 平成17年3月 | 平成18年3月 |
| 売上高（百万円） | 42,801 | 45,875 | 50,906 | 65,058 | 61,747 |
| 経常利益（百万円） | 9,275 | 9,565 | 11,767 | 17,228 | 16,368 |
| 当期純利益（百万円） | 2,468 | 3,545 | 7,494 | 10,256 | 9,800 |
| 資本金（百万円） （発行済株式総数）（株） | 19,556 (139,628,721) | 19,556 (139,628,721) | 19,556 (139,628,721) | 19,556 (139,628,721) | 19,556 (139,628,721) |
| 純資産額（百万円） | 98,260 | 97,116 | 109,391 | 116,460 | 130,130 |
| 総資産額（百万円） | 122,407 | 121,309 | 142,444 | 151,063 | 167,149 |
| 1株当たり純資産額（円） | 703.87 | 703.65 | 793.06 | 842.85 | 941.97 |
| 1株当たり配当額（円） （内1株当たり中間配当額） | 13.00 （－） | 13.00 （－） | 20.00 （－） | 20.00 （－） | 20.00 （－） |
| 1株当たり当期純利益（円） | 17.68 | 25.25 | 54.05 | 74.40 | 70.94 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益（円） | — | — | — | — | — |
| 自己資本比率（％） | 80.3 | 80.1 | 76.8 | 77.1 | 77.9 |
| 自己資本利益率（％） | 2.7 | 3.6 | 7.3 | 9.1 | 7.9 |
| 株価収益率（倍） | 93.3 | 44.7 | 35.6 | 27.6 | 39.5 |
| 配当性向（％） | 73.5 | 50.6 | 37.0 | 26.9 | 28.2 |
| 従業員数（人） | 1,346 | 1,378 | 1,371 | 1,498 | 1,589 |

- (注) 1. 連結売上高および売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 平成16年3月期の1株当たり配当額には、創立40周年記念配当5円を含んでおります。
3. 連結経営指標等の潜在株式調整後1株当たり当期純利益および提出会社の経営指標等の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 1株当たり純資産額および1株当たり当期純利益金額の算定に当たっては、平成15年3月期より「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。

2 【沿革】

| | |
|----------|---|
| 昭和39年3月 | ウシオ電機株式会社設立 資本金 12,500千円 |
| 昭和42年5月 | アメリカにUshio America, Inc. (ランプの販売) を設立 |
| 昭和43年9月 | 横浜市に生産技研横浜事業所を新設 |
| 昭和45年5月 | 東京証券取引所市場第2部上場 資本金 400,000千円 姫路市に播磨工場を新設 |
| 昭和46年8月 | 本社を東京都千代田区大手町に移転 |
| 昭和49年4月 | 大阪証券取引所市場第2部上場 資本金 820,000千円 |
| 昭和55年9月 | 東京および大阪証券取引所市場第1部上場 資本金 1,540,000千円 |
| 昭和58年6月 | 兵庫ウシオ電機株式会社 (現ウシオライティング株式会社、ランプの製造販売) を設立 |
| 昭和60年4月 | オランダにUshio Europe B.V. (ランプの販売) を設立 |
| 昭和61年7月 | 株式会社ユーテックを株式会社ウシオユーテックに商号変更 |
| 9月 | 香港にUshio Hong Kong Ltd. (光学装置の製造販売) を設立 |
| 昭和62年4月 | アメリカにUshio Oregon, Inc. (ランプの製造販売) を設立 |
| 9月 | 台湾にUshio Taiwan, Inc. (ランプの製造販売) を設立 |
| 昭和63年12月 | 御殿場市に御殿場事業所を新設 フランスにUshio France S.A.R.L. (ランプの販売) を設立 |
| 平成元年6月 | 当社シンガポール事務所をUshio Singapore Pte Ltd. (ランプの販売) として現地法人化 |
| 平成2年6月 | ウシオマリーン株式会社 (漁業用品の販売) を設立 |
| 10月 | ドイツのBLV Licht- und Vakuumtechnik GmbH (ランプの製造販売) を買収 |
| 平成3年11月 | 日本電子技術株式会社 (産業用電子機器の製造販売) を買収 |
| 平成4年4月 | アメリカのChristie Electric Corp. の映写機部門を買収し、Christie, Inc. (映写機関連機器の製造販売) を設立 |
| 6月 | ドイツにUshio Deutschland GmbH (ランプの販売) を設立 |
| 平成7年8月 | オランダにUshio International B.V. (持株会社) を設立 |
| 平成8年1月 | フィリピンにUshio Philippines, Inc. (ランプの製造販売) を設立 |
| 3月 | 韓国にUshio Korea, Inc. (ランプの販売) を設立 |
| 平成9年4月 | イギリスにUshio U.K., Ltd. (ランプの販売) を設立 |
| 7月 | 株式会社ウシオ総合技術研究所 (光源および光学装置の研究開発) を設立 |
| 平成11年1月 | 台湾にTaiwan Ushio Lighting Inc. (ランプの製造販売) を設立 |
| 9月 | カナダのElectrohome Ltd. の映像機器事業部門を買収し、Christie Systems, Inc. (持株会社)、Christie Digital Systems, Inc. (デジタル映像機器の製造販売)、Christie Digital Systems U.S.A., Inc. (デジタル映像機器の販売) をそれぞれ設立 |
| 平成12年4月 | ウシオマリーン株式会社を株式会社ウシオユーテックに吸収合併 |
| 8月 | ギガフォトン株式会社 (リソグラフィ用エキシマレーザ等の開発製造販売) を設立 |
| 平成13年4月 | ChristieグループをそれぞれChristie Digital Systems, Inc.、Christie Digital Systems U.S.A., Inc.、Christie Digital Systems Canada, Inc. に再編 |
| 5月 | 香港にUshio U-Tech (Hong Kong) Co., Ltd. (現Ushio Lighting (Hong Kong) Co., Ltd.、産業機械の販売) を設立 |
| 平成15年4月 | アメリカのEvent Audio Visual Group, Inc. (映像機器のレンタル事業) を買収 |
| 7月 | 中国にUSHIO SHANGHAI, INC. (ランプの販売) を設立 |
| 平成16年3月 | 中国にUshio (Suzhou) Co., Ltd. (ランプの製造販売) を設立 |
| 4月 | ウシオライティング株式会社と株式会社ウシオユーテックが株式会社ウシオユーテックを存続会社として合併し、ウシオライティング株式会社へ商号変更 Ushio Oregon, Inc. をUshio America, Inc. に吸収合併 |
| 8月 | 中国にChristie Digital Systems (Shanghai), Ltd. (デジタル映像機器の販売) を設立 |
| 平成17年4月 | 兵庫ウシオライティング株式会社 (ランプの製造) を設立 |
| 7月 | ドイツのXTREME technologies GmbH (EUV光源装置の開発製造販売) の持分を取得 |
| 10月 | ポーランドのNatrium S.A. (ランプの製造) を買収 |

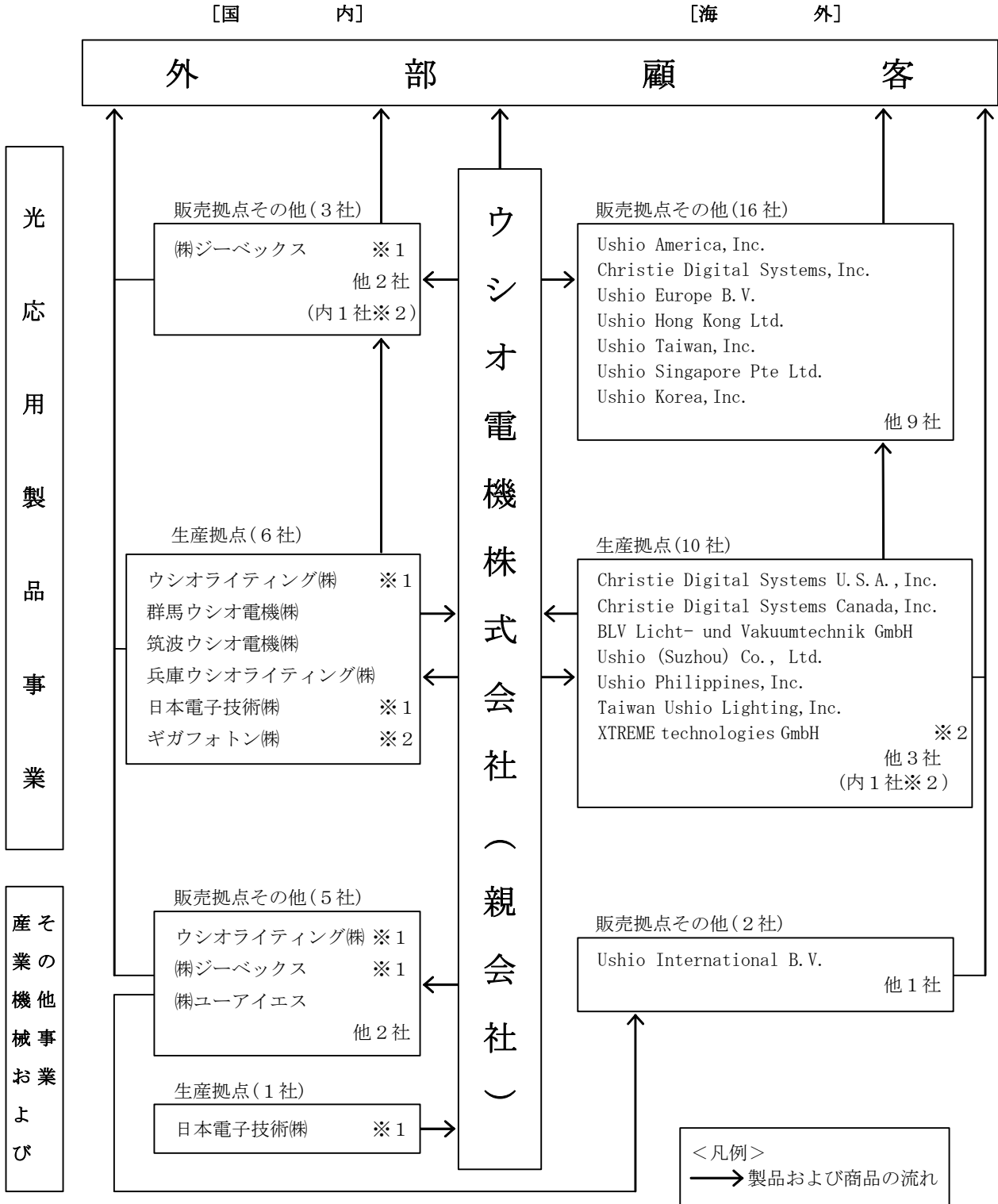
3【事業の内容】

当グループの企業集団は、当社（ウシオ電機株式会社）、子会社36社および関連会社4社で構成され、光応用製品および産業機械の製造販売を主な内容とし、更に各事業に関連する研究開発およびその他のサービス等の事業活動を展開しております。

当グループが営んでいる主な事業内容、主な関係会社の当該事業における位置付けおよび事業の種類別セグメントとの関連は、次のとおりであります。なお、事業内容の区分は、事業の種類別セグメント情報における事業区分と同一であります。

| 事業内容 | 主な製品 | 主な会社 |
|--------------|---|---|
| 光応用製品事業 | ハロゲンランプ、クセノンランプ、超高圧UVランプ、映画館用映写機および関連装置、紫外線硬化装置、各種露光装置、エキシマランプおよび関連装置 | 当社 ウシオライティング(株) 群馬ウシオ電機(株) 筑波ウシオ電機(株) 兵庫ウシオライティング(株) (株)ジーベックス 日本電子技術(株) ギガフォトン(株) Ushio America, Inc. Christie Digital Systems U.S.A., Inc. Christie Digital Systems, Inc. Christie Digital Systems Canada, Inc. Ushio Europe B.V. BLV Licht- und Vakuumtechnik GmbH Ushio Hong Kong Ltd. Ushio (Suzhou) Co., Ltd. Ushio Taiwan, Inc. Ushio Singapore Pte Ltd. Ushio Philippines, Inc. Ushio Korea, Inc. Taiwan Ushio Lighting, Inc. XTREME technologies GmbH 他14社 |
| 産業機械およびその他事業 | 自動制御等 | 当社 |
| | 射出成形機、食品包装機械、音響機器等 | ウシオライティング(株) (株)ジーベックス 他1社 |
| | 電子機器設計等 | 日本電子技術(株) |
| | 子会社株式の保有および管理等 | Ushio International B.V. |
| | 保険代理店業務、その他 | (株)ユーアイエス 他2社 |

企業集団等の状況について事業系統図を示すと次のとおりであります。



(注) ※1 光応用製品事業と産業機械およびその他事業の両方の事業を営んでいる会社
 ※2 関連会社で持分法適用会社

4【関係会社の状況】

(1) 連結子会社

| 会社名 | 住所 | 資本金または出資金 | 主要な事業の内容 | 子会社の議決権に対する所有割合 (%) | 関係内容 |
|---|-------------------------|------------------|------------------|---------------------|--|
| 群馬ウシオ電機(株) | 群馬県館林市 | 百万円 90 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 当社製品および商品の販売先・仕入先であり、設備を貸与しております。 役員の兼任等 5名 (うち当社従業員 1名) |
| 筑波ウシオ電機(株) | 茨城県つくば市 | 百万円 80 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 当社製品および商品の販売先・仕入先であり、設備を貸与しております。 役員の兼任等 5名 (うち当社従業員 1名) |
| ウシオライティング(株) | 兵庫県神崎郡 | 百万円 1,017 | 光応用製品事業 | 100.0 | 当社製品および商品の販売先・仕入先であります。 役員の兼任等 8名 (うち当社従業員 1名) |
| (株)ユーアイエス | 東京都千代田区 | 百万円 570 | 産業機械および その他事業 | 100.0 | 資金を貸与しております。 役員の兼任等 6名 (うち当社従業員 2名) |
| (株)ジーボックス | 東京都中央区 | 百万円 50 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 当社製品および商品の販売先であります。 役員の兼任等 1名 (うち当社従業員 0名) |
| 日本電子技術(株) | 神奈川県相模原市 | 百万円 24 | 光応用製品事業 | 99.6 | 当社商品の仕入先であります。 役員の兼任等 3名 (うち当社従業員 2名) |
| 兵庫ウシオライティング(株) | 兵庫県宍粟市 | 百万円 50 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 役員の兼任等 3名 (うち当社従業員 0名) |
| ※ Ushio America, Inc. | California, U. S. A. | 千 US\$ 23,730 | 光応用製品事業 | 100.0 (21.4) | 当社製品および商品の販売先であり、資金を貸与しております。 役員の兼任等 3名 (うち当社従業員 2名) |
| Christie Digital Systems U. S. A., Inc. | California, U. S. A. | 千 US\$ 10,010 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 当社製品および商品の販売先であります。 役員の兼任等 2名 (うち当社従業員 2名) |
| Christie Digital Systems, Inc. | California, U. S. A. | US\$ 490 | 光応用製品事業 | 100.0 (74.4) | 役員の兼任 2名 (うち当社従業員 2名) |

| 会社名 | 住所 | 資本金または出資金 | 主要な事業の内容 | 子会社の議決権に対する所有割合 (%) | 関係内容 |
|---------------------------------------|----------------------------|-------------------|--------------|---------------------|--|
| Christie Digital Systems Canada, Inc. | Ontario, Canada | 千 C\$ 45,641 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 役員の兼任 2名 (うち当社従業員 2名) |
| Ushio Europe B. V. | Oude Meer, The Netherlands | 千 EURO 3,584 | 光応用製品事業 | 100.0 | 当社製品および商品の販売先であります。 役員の兼任等 1名 (うち当社従業員 1名) |
| BLV Licht- und Vakuumtechnik GmbH | Steinhoering, Germany | 千 EURO 8,947 | 光応用製品事業 | 100.0 | 当社商品の仕入先であります。 役員の兼任 2名 (うち当社従業員 2名) |
| Ushio International B. V. | Amsterdam, The Netherlands | 千 US\$ 8,602 | 産業機械およびその他事業 | 100.0 | 役員の兼任 3名 (うち当社従業員 2名) |
| ※ Ushio Hong Kong Ltd. | Kowloon, Hong Kong | 千 HK\$ 58,700 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 当社製品および商品の販売先・仕入先であります。 役員の兼任 5名 (うち当社従業員 4名) |
| Ushio Taiwan, Inc. | Taipei, Taiwan | 千 NT\$ 237,800 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 当社製品および商品の販売先・仕入先であります。 役員の兼任 4名 (うち当社従業員 4名) |
| Ushio Singapore Pte Ltd. | Jalan Kilang Singapore | 千 S\$ 400 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 当社製品および商品の販売先であります。 役員の兼任 2名 (うち当社従業員 2名) |
| Ushio Philippines, Inc. | Cavite, Philippines | 千 P 200,000 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 当社製品および商品の販売先・仕入先であります。 役員の兼任等 5名 (うち当社従業員 5名) |
| ※ Ushio Korea, Inc. | Seoul, Korea | 千 W 500,000 | 光応用製品事業 | 70.0 | 当社製品および商品の販売先であり、資金を貸与しております。 役員の兼任等 3名 (うち当社従業員 3名) |
| Taiwan Ushio Lighting, Inc. | Chupei, Taiwan | 千 NT\$ 13,000 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 役員の兼任等 5名 (うち当社従業員 3名) |
| Ushio (Suzhou) Co., Ltd. | Suzhou, China | 千 RMB 28,968 | 光応用製品事業 | 100.0 (100.0) | 役員の兼任等 4名 (うち当社従業員 4名) |

(2) 持分法適用関連会社

| 会社名 | 住所 | 資本金または出資金 | 主要な事業の内容 | 関連会社の議決権に対する所有割合 (%) | 関係内容 |
|--------------------------|---------------|--------------|----------|----------------------|--|
| ギガフォトン(株) | 東京都千代田区 | 百万円 5,000 | 光応用製品事業 | 50.0 | 当社製品および商品の販売先であり、資金を貸与しております。 役員の兼任等 3名 (うち当社従業員 1名) |
| XTREME technologies GmbH | Jena, Germany | 千 EURO 25 | 光応用製品事業 | 50.0 (50.0) | 当社商品の仕入先であり、資金を貸与しております。 役員の兼任等 3名 (うち当社従業員 1名) |

(注) 1. 主要な事業の内容欄には、事業の種類別セグメントの名称を記載しております。

2. 上記のほか15社の連結子会社および2社の持分法適用関連会社があります。

3. 会社名欄に※印があるものは特定子会社であります。

4. Christie Digital Systems U.S.A., Inc. については、売上高（連結会社相互間の内部売上高を除く）の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

| | | |
|----------|-----------|------------|
| 主要な損益情報等 | (1) 売上高 | 24,641 百万円 |
| | (2) 経常利益 | 89 百万円 |
| | (3) 当期純損失 | 517 百万円 |
| | (4) 純資産額 | 1,063 百万円 |
| | (5) 総資産額 | 11,110 百万円 |

5【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成18年3月31日現在

| 事業の種類別セグメントの名称 | 従業員数（人） |
|----------------|---------|
| 光応用製品事業 | 4,260 |
| 産業機械およびその他事業 | 44 |
| 全社（共通） | 86 |
| 合計 | 4,390 |

(注) 1. 従業員数は就業人員（当グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当グループへの出向者を含んでおります。）で記載しております。

2. 全社（共通）として記載されている従業員数は、特定のセグメントに区分できない管理部門に所属しているものであります。

(2) 提出会社の状況

平成18年3月31日現在

| 従業員数（人） | 平均年齢（才） | 平均勤続年数（年） | 平均年間給与（円） |
|---------|---------|-----------|-----------|
| 1,589 | 35.5 | 12.3 | 6,982,933 |

(注) 1. 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含んでおります。）で記載しております。

2. 平均年間給与は、賞与および基準外賃金を含んでおります。

(3) 労働組合の状況

当グループにおいては、提出会社の労働組合としてウシオ電機労働組合が、全日本電機・電子・情報関連産業労働組合連合会に加盟しているほか、連結子会社においても適宜労働組合が結成され、関連上部団体に加盟するなどしております。

なお、労使関係につきましては、良好であり特に記載すべき事項はありません。

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1) 業績

当連結会計年度におけるわが国経済を顧みますと、原油や素材価格の高騰が長期化しましたが、企業収益の改善や民間設備投資の増加に加え個人消費の回復などから、日本経済は引き続き緩やかな改善を示しました。

一方、米国経済は内需の底堅い動きに支えられ、雇用環境が改善傾向を示すと共に個人消費が堅調に推移したことから、緩やかな拡大基調を維持しました。またアジア経済は、中国が輸出を中心に高い成長を持続するなど総じて好調に推移しました。

当グループでは、将来に向けた新技術・新製品開発への積極的な投資を行なうとともに、生産性の向上や製造コストの低減、海外展開強化に向けた販売体制の整備・拡充など、引き続き全社を挙げて業績の向上に注力しております。

このような経済環境のもと、液晶関連業界において液晶パネルの需要拡大に伴い、液晶パネルの生産増によるリプレイスランプの需要が拡大するとともに、海外を中心とする大型映像設備関連事業などが順調に拡大いたしました。

一方、高い水準で伸長していたデータプロジェクター用ランプの市場において、データプロジェクターの在庫調整に伴い一時的な需要停滞を迎えましたが、年度後半には局面打開の兆しが見え回復基調で推移しました。

新たな取り組みとしましては、デジタルシネマプロジェクターの本格的普及に向けてシネマ業界を構成する制作・配給・興行の3分野と連携を取りながら積極的な活動を推し進めております。その一環として、米国のデジタル映画配信システム事業会社との「デジタルシネマ普及促進プログラム」を立ち上げました。その後、米国大手配給会社各社が相次いでプログラムへの参画を表明し、コンテンツ供給契約を締結するに至り、加えて大手シネコンチェーンもデジタルシネマプロジェクターの導入について正式に契約調印すると共に、順次デジタルシネマプロジェクターの出荷を開始いたしました。また、次世代半導体露光用の光源「EUV」の実用化に向けた国家プロジェクト「EUV Aプロジェクト」に設立当初から参画する一方、この分野において世界トップレベルにある企業に出資をし、技術開発を加速しております。また半導体トップメーカーの投資部門から「EUV光源」の研究開発が高く評価され、光源開発促進に向けた戦略的投資の契約を締結いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績といたしましては、売上高で対前期比8.5%増の1千292億8千4百万円、営業利益で対前期比8.4%減の185億1百万円、経常利益で対前期比3.6%増の232億7百万円、当期純利益で対前期比9.3%増の148億9千5百万円をそれぞれ計上いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(光応用製品事業)

管球関連製品におきましては、データプロジェクター用高輝度放電ランプの需要が減少しましたが、液晶製造プロセスで使用されるリプレイスランプは順調に拡大いたしました。

光学装置関連製品におきましては、据付型プロジェクターおよびデジタルシネマなどの大型映像システムが大幅に売上高を拡大いたしました。液晶業界では設備投資が一部地域において一時的な調整局面を迎え、液晶関連装置の需要が減少いたしました。

この結果、売上高は、対前期比8.4%増の1千253億8千9百万円となりました。また営業利益では対前期比8.6%減の182億1千2百万円を計上いたしました。

(産業機械およびその他事業)

産業機械関連製品におきましては全般的に拡大基調に推移し、その中でも食品梱包機械を中心に需要が増加いたしました。

この結果、売上高は、対前期比13.2%増の40億8千4百万円となりました。また営業利益では2億8千9百万円を計上いたしました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

データプロジェクター用高輝度放電ランプの需要が減少したことに加え、液晶業界における設備投資の調整から液晶関連装置の需要が伸び悩みました結果、売上高は、対前期比3.9%減の782億7千2百万円を計上いたしました。

(北米)

映像・画像事業において、映写機・光源・映像設備などのハードに加え、ネットワーク化・メンテナンス・関連サービスなどの運用や保守をパッケージにしたシステムインテグレーションの強化を図ることにより、デジタルシネマプロジェクターを始めとした大型映像表示システムなどの需要が増加いたしました結果、売上高は、対前期比40.4%増の394億3百万円を計上いたしました。

(ヨーロッパ)

半導体露光用紫外線ランプなどの需要が減少いたしました。シネマ映写機用クセノンランプ、照明用各種ランプなどの需要は堅調に推移しました結果、売上高は、対前期比2.7%増の62億8千3百万円を計上いたしました。

(アジア)

データプロジェクター用高輝度放電ランプなどの需要が減少いたしました。半導体および液晶露光用紫外線ランプ、液晶基板洗浄用エキシマ光照射装置およびエキシマランプなどの需要が増加いたしました結果、売上高は、対前期比12.2%増の299億4千6百万円を計上いたしました。

(2) キャッシュ・フロー

当連結会計年度における連結ベースの現金および現金同等物（以下「資金」と言う。）は、税金等調整前当期純利益が231億7千万円（対前年同期比7.3%増）と増加したことに加えて、投資有価証券の償還および売却による収入が35億9千8百万円（対前年同期比277.9%増）ありましたが、法人税等の支払が100億3千8百万円（対前年同期比33.8%増）と増加し、また投資有価証券の取得による支出が50億1千4百万円（対前年同期比20.4%増）あったことから、当連結会計年度末の資金は、前連結会計年度末に比べて27億3千4百万円減少し227億1百万円（対前年同期比10.8%減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ30億1千万円減少し、93億9千7百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益が前連結会計年度に比べ15億7千9百万円増加したものの、仕入債務の支出が前連結会計年度に比べ35億9千万円増加したこと、および法人税等の支払額が前連結会計年度の利益を反映し前連結会計年度に比べ25億3千4百万円増加となったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ32億8千9百万円支出が増加し、97億6千2百万円の支出となりました。この主な要因は、当社が保有していた投資有価証券が償還および売却されたことによる収入と、投資有価証券の取得および有形固定資産の取得による支出との差し引きによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ15億6千6百万円支出が増加し、33億2千4百万円の支出となりました。この主な要因は、配当金の支払いによるものであります。

2【生産、受注および販売の状況】

(1) 生産実績

生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | 前年同期比 (%) |
|--------------------|--|-----------|
| 光応用製品事業 (百万円) | 109,087 | 100.7 |
| 産業機械およびその他事業 (百万円) | 520 | 86.4 |
| 合計 (百万円) | 109,608 | 100.6 |

- (注) 1. 上記金額は販売価格にて算定しており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2. 上記金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当グループの生産は過去の販売実績および市場調査による需要の予測ならびに将来の予測等を考慮し、生産計画を設定し、これに基づいて勘案された見込生産であります。

(3) 販売実績

販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | 前年同期比 (%) |
|--------------------|--|-----------|
| 光応用製品事業 (百万円) | 125,306 | 108.4 |
| 産業機械およびその他事業 (百万円) | 3,977 | 113.1 |
| 合計 (百万円) | 129,284 | 108.5 |

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記金額に消費税等は含まれておりません。

3【対処すべき課題】

次期の国内外経済を展望いたしますと、長期金利の上昇や為替レートの動向による企業経営への影響、原油、原材料の価格高騰など、今後の先行きについては依然不透明であります。全般的には緩やかな拡大基調が想定されます。

このような情勢下において、当グループは中長期的な柱である「映像・画像事業」「露光事業」を中心として、品質重視のもと、海外生産移管ならびに徹底した製造コストの低減、海外販売拠点を含めた販売体制の整備・効率化、当グループの強みである光源・光学技術を最大限活用したハイテク分野での研究開発の推進など、生産・販売・開発のすべてにわたり諸施策を鋭意推し進め、グループ全体の更なる事業基盤の強化を図ってまいります。

I T時代に対応するデジタル映像・画像事業、情報通信機器・エレクトロニクス製品の小型軽量化とともに高機能化・高性能化が急速に進む高密度実装事業、次世代メモリーの実用化も視野に入れた半導体露光事業などを重点事業として、積極的な研究開発投資を行なうとともに、多様化するマーケットニーズに対応した製品ラインアップの充実、製造コストの低減、品質・生産性の向上などに取り組んでおります。

また、海外の生産拠点・販売拠点とネットワークの拡大強化を図りながら、世界のマーケットへ向けて光源および光学装置の拡販、サービス体制の充実などに努める一方、環境問題を新たな経営課題の一つと捉え、省エネルギー・省資源、廃棄物削減・リサイクル化、環境負荷の低減などに積極的に取り組んでおります。

4【事業等のリスク】

当グループの経営成績、財務状況及びキャッシュ・フロー等の業績に影響をおよぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。

なお、記載した事項は、有価証券報告書提出日(平成18年6月29日)現在において当グループが判断したものです。当グループに関する全てのリスクを網羅したものではありません。

(1) 半導体、液晶業界の需要動向による影響について

当グループの業績は、半導体や液晶業界における需給の影響を受ける状況にあります。現状におきまして当社の取扱品目は、主として製造装置用のランプという消耗品であり、工場が稼動する段階において安定的に需要が発生する構造となっております。しかしながら、当社が扱う半導体や液晶の製造装置につきましては、各々の業界における中長期的な需要の変動や技術革新の影響を受け、当グループの業績および財務状況に重要な影響をおよぼす可能性があります。

(2) 各種照明・照射光源の需要変動等による影響について

当グループは半導体、液晶分野以外にデータプロジェクター用搭載光源をはじめ、各種の照明・照射光源をマーケットに供給しておりますが、これらの光源は、マーケットの技術動向、価格動向、需要変動の影響を受け、当グループの業績および財務状況に重要な影響をおよぼす可能性があります。

(3) 半導体製造露光技術開発のリスクについて

半導体回路微細化の中で、当社の放電灯を用いた製造装置は稼動台数では依然として高水準にありますものの、半導体露光技術は新しい方式へ発展する方向にあります。現在は、そのひとつの方式であるエキシマレーザーによる露光については、関連会社でありますギガフォトン社を通じて事業を行っております。また、EUV(極端紫外線)光源の開発は関連会社でありますエクストリーム社と共同で行っております。このギガフォトン社やエクストリーム社が手がける新しい方式を含め、今後の半導体製造露光技術がどのように展開するかは、当グループの業績および財務状況に重要な影響をおよぼす可能性があります。

(4) 国際的活動および海外進出に潜在するリスクについて

当グループの生産および販売活動は、米国やヨーロッパ、ならびにアジア等の日本国外でも行なわれております。最近のOA機器は、その大半がアジアで生産されており、その大部分が中国に集中しております。OA機器用ランプで、高い世界シェアを持つ当グループも例外ではなく、特に中国での生産を拡大しております。今後の中国における諸規則、諸規制等の変更により発生するリスクが当グループの業績および財務状況に影響をおよぼす可能性があります。

(5) 外国為替のリスクについて

当グループは、円建とともに外貨建も含めて一般事業取引や投融資を行っております。従って、外貨によって行なっている当グループの商取引および投融資の損益は、外国為替の変動による影響を受ける状況にあります。これに対して為替予約を適宜行なっておりますが、為替リスクを完全に回避することはできないため為替の変動が当グループの業績および財務状況に重要な影響をおよぼす可能性があります。

(6) 有価証券の価格変動リスクについて

当グループは金融資産として、有価証券を保有しており、現状は時価が取得価格を上回る状況が続いておりますが、今後の状況次第では時価の下落も考えられます。当グループではこのような有価証券の価格変動リスクを負っており、当グループの業績および財務状況に重要な影響をおよぼす可能性があります。

(7) 退職給付債務に係るリスクについて

当社および国内連結子会社は、確定給付型の制度として厚生年金基金制度および退職一時金制度を設けておりますが、退職給付債務等の計算の基礎に関する事項の見直しや今後の年金資産の運用環境悪化、また、退職給付制度等の改訂により、退職給付費用が増加することがあり、当グループの業績および財務状況に悪影響をおよぼす可能性があります。

(8) 環境規制に係るリスクについて

電機業界に課される環境その他の法的規制は、安全性および工場からの汚染物質など広範囲にわたっております。これらの規制は変更されることがあり、規制がより厳しくなることもしばしばあります。これらの規制を遵守するための費用が当グループの事業にとって重大な金額となる可能性があります。

5【経営上の重要な契約等】

経営上の重要な契約として特記すべき事項はありません。

6【研究開発活動】

当グループは、産業用光源の開発・製造を中核にして、光学系技術をはじめ、エレクトロニクスやメカトロニクスなど、光を利用・応用していく上で不可欠なさまざまな周辺技術の開発を推し進め、光のユニット化、光の装置・システム化へと事業を展開しております。

光技術と高度なエレクトロニクス産業、IT産業が融合する新しい分野で求められる最適な光を創り出すために、当グループは、新市場・新技術の動向を常に把握し、テクニカルサポートおよびメンテナンスサービスを備えた、戦略的な研究開発活動を行なうと共に、各研究開発部門が相互に連携・連動しながら数々の新しい光源および光の関連装置を生み出す体制となっております。

なお、当連結会計年度におけるグループ全体の研究開発費の総額は4億4千5百万円であり、光応用製品事業を中心にとなっております。

当連結会計年度の主な成果は、次のとおりであります。

(光応用製品事業)

1. EUV・α機用光源の開発

半導体露光用光源は現在KrF, ArFエキシマレーザが用いられ、デザインルール45nmの露光装置としては液浸ArFエキシマ露光装置が開発されています。これらに続く次世代のデザインルール32nmの露光用光源として使用できる、クリーンなXe放電技術を使用したEUV・α機用光源を開発いたしました。

2. Flash Lamp Anneal (FLA) 用光源

デザインルール65nm以降の半導体は、トランジスタ接合部にUltra Shallow Junction (USJ) と呼ばれる非常に浅い接合層を形成する必要があります。従来方式のハロゲンランプを用いる高速処理は、熱処理に1秒程度を要する上、イオンが熱拡散してしまい、完全なUSJが形成出来ませんでした。そこで、キセノンフラッシュランプを使用することで、約1ミリ秒で熱処理を完了させることに成功し、従来方式に比べ大幅な特性改善を図ることに成功いたしました。

3. 大型液晶パネル貼り合せ用紫外線照射装置の開発

近年液晶パネルの大型化に伴い貼り合せ用紫外線照射装置も大型化し、電力・クリーンルームのエア一等のユーティリティーコストも大幅に増大しております。そこで、光学設計技術を駆使し、エネルギー利用効率を従来の2倍に高めるとともに、ランプ冷却設計を見直すことによりクリーンルームのエアー負荷を殆どゼロとすることを可能にしました。また、装置設計見直しの結果、フットプリントも大幅に小さくすることに成功いたしました。

4. TAB/FPC検査機の開発

液晶パネルや電子デバイスに使用されるTAB/FPC基板は着実に配線の微細化が進み、配線ピッチは25μmに至っております。これに伴い、基板の配線不良を効率的に発見する検査機のニーズが高まってきています。当グループでは、配線ピッチ20μmに対応可能な配線外観検査装置を開発し、ユーザ先で稼働実績を上げております。微細な配線を高速検査でき、反射照明と透過照明の両方を備え、特殊照明技術によりゴミ等による虚報(欠陥ではないのに、欠陥と判定してしまうこと)を従来の10分の1以下に抑えることに成功しました。

5. 高出力6kHz 60W ArF ツインチャンバエキシマレーザの開発

最先端の半導体技術である45nmノードに対応するため、2つのチャンバ(ツインチャンバ)を使用するインジェクションロック方式の高出力6kHz 60W超狭帯域化ArFエキシマレーザを開発し、主に液浸ArF露光機用光源として、出荷を開始いたしました。

7【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 当連結会計年度の経営成績の分析

当連結会計年度の財政状態および経営成績の分析は、以下のとおりであります。なお、本項に記載した予想、見通し、方針等将来に関する事項は、本有価証券報告書提出日現在において判断したものであり、将来に関する事項には、不確実性を内在しており、あるいはリスクを含んでいるため、将来生じる実際の結果と大きく異なる可能性もありますのでご留意ください。

当グループの財政状態について申し上げますと、商量増大に基づく売掛金、棚卸資産、保有しております投資有価証券の評価益、それぞれの増加により、連結総資産におきまして、対前期比、金額で257億7千5百万円、割合で13.8%増の2千130億2千7百万円となりました。

他方、当グループの経営成績についての分析を致しますと、まず連結売上高では、管球関連製品におきましては、データプロジェクター用高輝度ランプの需要が減少しましたが、液晶製造プロセスで使用されるリプレイスランプは順調に拡大いたしました。光学装置関連製品におきましては、据付型プロジェクターおよびデジタルシネマなどの大型映像システムが大幅に売上高を拡大いたしました。液晶業界では設備投資が一部地域において一時的な調整局面を迎え、液晶関連装置の需要が減少いたしました。

この結果、連結売上高は、対前期比、金額で101億2千5百万円、割合で8.5%増の1千292億8千4百万円となっております。

次に、連結上の諸利益におきましては、人件費、減価償却費の増加により、営業利益は、対前期比、金額で16億8千8百万円、割合で8.4%減の185億1百万円を計上となりました。また、有価証券の売却や保有している投資事業組合運用益の増加により、経常利益は、対前期比、金額で7億9千9百万円の増加、割合で3.6%増の232億7百万円となりました。

当期純利益につきましては、前連結会計年度のような固定資産の除売却損や減損損失が殆どなかった結果、対前期比、金額で12億6千1百万円、割合で9.3%増の148億9千5百万円となっております。

(2) 資本の財源および資金の流動性についての分析

当グループの資金状況は、営業活動によるキャッシュ・フローでは、前連結会計年度より30億1千万円減少し、93億9千7百万円の収入となっております。この主な要因は、税金等調整前当期純利益が増加したものの、仕入債務の支出および法人税等の支払額が増加したことがあげられます。投資活動によるキャッシュ・フローは、97億6千2百万円の支出となっております。これは、当社が保有していた有価証券が償還および売却されたことによる収入に比べ投資有価証券の取得および有形固定資産の取得による支出が多かったことが原因としてあげられます。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、銀行借入による収入と借入返済および支払配当金との差で33億2千4百万円の支出となりました。

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

当グループでは、既存設備の増強、将来的に成長が期待できる事業および研究開発分野に重点をおき、光応用製品事業を中心に6,810百万円の設備投資を実施いたしました。当連結会計年度の設備投資（有形固定資産、無形固定資産および長期前払費用の受入ベースの数値。金額には消費税等を含んでおりません。）の内訳は、次のとおりであります。

| | 当連結会計年度 | 前期比 |
|--------------|----------|--------|
| 光応用製品事業 | 6,781百万円 | 52.8% |
| 産業機械およびその他事業 | 29百万円 | 290.0% |
| 合計 | 6,810百万円 | 53.0% |

当連結会計年度は、各セグメントとも設備投資案件を厳選し、投資効率を迫及した設備投資を継続する一方、今後成長の見込まれる分野での当グループの事業競争力強化を狙った重点投資を行なった結果、設備投資額は増加いたしました。

当グループの設備投資は主に光応用製品事業中心に行なっており、その内容といたしましては、IT時代に対応するデジタル映像・画像事業、情報通信機器・エレクトロニクス製品の小型軽量化とともに高機能化・高性能化が急速に進む高密度実装事業、次世代メモリーの実用化も視野に入れた半導体露光事業などを重点事業として、設備投資を行ないました。

上記設備投資に関連して、所要資金は、自己資金および借入金によっております。

なお、光応用製品事業における建物および機械装置などの工場設備の除却に伴う固定資産除却損96百万円を計上しております。

2【主要な設備の状況】

当グループにおける主要な設備は、次のとおりであります。

(1) 提出会社

(平成18年3月31日現在)

| 事業所名 (所在地) | 事業の種類 別セグメン トの名称 | 設備の内容 | 帳簿価額 | | | | | 従業員数 (人) |
|------------------------------|------------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|--------------|-------------|-------------|
| | | | 建物およ び構築物 (百万円) | 機械装置お よび運搬具 (百万円) | 土地 (百万円) (面積㎡) | その他 (百万円) | 合計 (百万円) | |
| 播磨事業所 (兵庫県姫路市) | 光応用製品 事業 | 光応用製品生 産設備 | 6,085 | 3,564 | 1,174 (65,675) | 852 | 11,676 | 1,047 |
| 生産技研横浜事業所 (神奈川県横浜市青葉区) | 光応用製品 事業 | 光応用製品生 産設備 | 798 | 47 | 297 (9,224) | 341 | 1,485 | 200 |
| 御殿場事業所 (静岡県御殿場市) | 光応用製品 事業 | 光応用製品生 産設備 | 1,403 | 229 | 1,203 (53,114) | 90 | 2,926 | 84 |
| 群馬地区工場 (群馬県館林市) (注) 2 | 光応用製品 事業 | 光応用製品生 産設備 | 160 | 1 | 285 (15,887) | 3 | 450 | 37 |
| 茨城地区工場 (茨城県つくば市) (注) 2 | 光応用製品 事業 | 光応用製品生 産設備 | 128 | 0 | 213 (9,254) | 0 | 342 | 48 |

(2) 国内子会社

(平成18年3月31日現在)

| 会社名 | 事業所名 (所在地) | 事業の種類 別セグメン トの名称 | 設備の内容 | 帳簿価額 | | | | | 従業員数 (人) |
|----------------|--------------------------|------------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|--------------|-------------|-------------|
| | | | | 建物およ び構築物 (百万円) | 機械装置お よび運搬具 (百万円) | 土地 (百万円) (面積㎡) | その他 (百万円) | 合計 (百万円) | |
| ウシオライ ティング㈱ | 本社工場 (兵庫県 神崎郡) | 光応用製品 事業 | 光応用製品 生産設備 | 651 | 207 | 760 (19,713) | 24 | 1,644 | 201 |
| ウシオライ ティング㈱ | 物流倉庫 (茨城県 つくば市) | 光応用製品 事業 | 物流倉庫 | 143 | 0 | 180 (4,959) | 1 | 326 | 8 |
| ㈱ユーアイエ ス | 賃貸マンション (神奈川県 横浜市) | 産業機械お よびその他 事業 | 賃貸マンシ ョン | 354 | 17 | 358 (1,764) | 4 | 735 | 5 |

(3) 在外子会社

(平成18年3月31日現在)

| 会社名 | 事業所名 (所在地) | 事業の種類 別セグメン トの名称 | 設備の内容 | 帳簿価額 | | | | | 従業員数 (人) |
|--|-------------------------|------------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|--------------|-------------|-------------|
| | | | | 建物およ び構築物 (百万円) | 機械装置お よび運搬具 (百万円) | 土地 (百万円) (面積㎡) | その他 (百万円) | 合計 (百万円) | |
| Ushio Hong Kong Ltd. | Panyu事業所 (中国) | 光応用製品 事業 | 倉庫および 事務所 | 133 | 203 | — | 57 | 393 | 198 |
| Ushio Hong Kong Ltd. | Yuen Long 事業所 (中国) | 光応用製品 事業 | 倉庫および 事務所 | 116 | 31 | 72 (4,800) | 3 | 224 | 38 |
| Ushio Taiwan, Inc. (注) 2 | 竹北工場 (台湾) | 光応用製品 事業 | 光応用製品 生産設備 | 79 | 2 | 222 (8,557) | — | 304 | 115 |
| Ushio Philippines, Inc. | フィリピン 工場 (フィリ ピン) | 光応用製品 事業 | 光応用製品 生産設備 | 178 | 257 | — | 39 | 475 | 403 |
| BLV Licht- und Vakuumentech nik GmbH | Steinhoering 工場(ドイツ) | 光応用製品 事業 | 光応用製品 生産設備 | 342 | 619 | 20 (12,702) | 110 | 1,093 | 176 |
| Ushio America, Inc. | オレゴン工場 (アメリカ) | 光応用製品 事業 | 光応用製品 生産設備 | 242 | 7 | 26 (23,871) | 3 | 279 | 60 |
| Ushio America, Inc. (注) 2 | 本社 (アメリカ) | 光応用製品 事業 | 倉庫および 事務所 | 314 | — | 508 (1,614) | — | 822 | 313 |
| Ushio America, Inc. | 本社 (アメリカ) | 光応用製品 事業 | 倉庫および 事務所 | 775 | 72 | 541 (18,632) | 171 | 1,561 | 75 |
| Christie Digital Systems Canada, Inc. | Kitchener工場 (カナダ) | 光応用製品 事業 | 光応用製品 生産設備 | 607 | — | 530 (90,609) | 1,010 | 2,149 | 314 |

- (注) 1. 帳簿価格のうち「その他」は、工具器具および備品であり、建設仮勘定は含んでおりません。なお、金額には消費税等は含まれておりません。
2. 提出会社の群馬地区工場および茨城地区工場は連結子会社である群馬ウシオ電機㈱および筑波ウシオ電機㈱に賃貸しております。
- 在外子会社のUshio Taiwan, Inc. の竹北工場は連結子会社であるTaiwan Ushio Lighting, Inc. に賃貸しております。
- 在外子会社のUshio America, Inc. の本社の一部を連結子会社であるChristie Digital Systems, Inc.、Christie Digital Systems U.S.A., Inc. およびUshio International Technologies, LLC. に賃貸しております。
3. 従業員数は、当該事業所に勤務している当グループの従業員の合計を記載しております。
4. 上記の他、主要な賃借およびリース設備として、以下のものがあります。

(1) 提出会社

(平成18年3月31日現在)

| 事業所名 (所在地) | 事業の種類別セグメントの 名称 | 設備の内容 | 従業員数 (人) | 年間賃借料およびリ ース料 (百万円) |
|---------------------|--------------------|-------------------|-------------|---------------------------|
| 本社 (東京都千代田区) | 会社統括業務 | 統括業務設備 (賃借) | 86 | 232 |
| 東京営業本部 (東京都千代田区) | 光応用製品事業 | 光応用製品販売設備 (賃借) | 106 | 97 |

(2) 国内子会社

(平成18年3月31日現在)

| 会社名 | 事業所名 (所在地) | 事業の種類別セグメントの名称 | 設備の内容 | 従業員数 (人) | 年間賃借料およびリース料 (百万円) |
|--------------|-------------------|------------------|----------------------|-------------|-----------------------|
| ウシオライティング(株) | 東京本社 (東京都千代田区) | 産業機械および その他事業 | 統括および販売業務 設備 (賃借) | 84 | 89 |

(3) 海外子会社

(平成18年3月31日現在)

| 会社名 | 事業所名 (所在地) | 事業の種類別セグメントの名称 | 設備の内容 | 従業員数 (人) | 年間賃借料およびリース料 (百万円) |
|--|-------------------------|----------------|--------------------|-------------|-----------------------|
| Christie Digital Systems Canada, Inc. | イギリス支社 (イギリス) | 光応用製品事業 | 光応用製品製造設備 (リース) | 17 | 26 |
| Christie Digital Systems U.S.A., Inc. | 日本支社 (日本) | 光応用製品事業 | 光応用製品製造設備 (リース) | 11 | 35 |
| BLV Licht- und Vakuumtechnik GmbH | Steinhoering工場 (ドイツ) | 光応用製品事業 | 光応用製品製造設備 (リース) | 45 | 17 |
| Ushio America, Inc. | Irvine工場 (アメリカ) | 光応用製品事業 | 光応用製品製造設備 (リース) | 25 | 22 |

3【設備の新設、除却等の計画】

当グループの設備投資につきましては、市場動向、投資効率等を総合的に勘案して、連結会社各社が個別に策定しております。また、重要な設備投資計画にあたっては、現地法人会議において当グループとしてより効率的な投資が出来るよう、提出会社を中心に調整を図っております。

なお、当連結会計年度末現在における重要な設備の新設の計画は次のとおりであります。

(1) 重要な設備の新設

| 会社名 事業所名 | 所在地 | 事業の種類別セグメントの名称 | 設備の内容 | 投資予定金額 | | 資金調達方法 | 着手および完了予定年月 | | 完成後の増加能力 |
|-------------------------|------------------|----------------|-----------|-------------|---------------|--------|-------------|--------|----------|
| | | | | 総額 (百万円) | 既支払額 (百万円) | | 着手 | 完了 | |
| 提出会社 御殿場事業所 | 静岡県御殿場市 | 光応用製品事業 | 光応用製品生産設備 | 2,860 | — | 自己資金 | 2006.7 | 2008.3 | — |
| 提出会社 播磨事業所 | 兵庫県姫路市 | 光応用製品事業 | 光応用製品生産設備 | 1,590 | — | 自己資金 | 2006.4 | 2007.3 | — |
| 提出会社 生産技研横浜事業所 | 神奈川県横浜市 | 光応用製品事業 | 光応用製品生産設備 | 410 | — | 自己資金 | 2006.4 | 2007.3 | — |
| Ushio Hong Kong Ltd. | Panyu事業所 (中国) | 光応用製品事業 | 倉庫および事務所 | 363 | — | 自己資金 | 2006.4 | 2007.3 | — |

(2) 改修

| 会社名 事業所名 | 所在地 | 事業の種類別セグメントの名称 | 設備の内容 | 投資予定金額 | | 資金調達方法 | 着手および完了予定年月 | | 完成後の増加能力 |
|---------------|--------|----------------|-----------|-------------|---------------|--------|-------------|--------|----------|
| | | | | 総額 (百万円) | 既支払額 (百万円) | | 着手 | 完了 | |
| 提出会社 播磨事業所 | 兵庫県姫路市 | 光応用製品事業 | 建屋の改修工事等 | 240 | — | 自己資金 | 2006.4 | 2007.3 | — |
| 提出会社 播磨事業所 | 兵庫県姫路市 | 光応用製品事業 | 光応用製品生産設備 | 200 | — | 自己資金 | 2006.4 | 2007.3 | — |

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

| 種類 | 会社が発行する株式の総数（株） |
|------|-----------------|
| 普通株式 | 300,000,000 |
| 計 | 300,000,000 |

②【発行済株式】

| 種類 | 事業年度末現在発行数（株） （平成18年3月31日） | 提出日現在発行数（株） （平成18年6月29日） | 上場証券取引所名 又は登録証券業協 会名 | 内容 |
|------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|----|
| 普通株式 | 139,628,721 | 139,628,721 | 東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部 | — |
| 計 | 139,628,721 | 139,628,721 | — | — |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 （株） | 発行済株式 総数残高 （株） | 資本金増減額 （百万円） | 資本金残高 （百万円） | 資本準備金 増減額 （百万円） | 資本準備金 残高 （百万円） |
|------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成17年3月1日 （注） | — | 139,628,721 | — | 19,556 | 129 | 28,248 |

（注） 株式交換による子会社株式の取得に伴う増加であります。

(4)【所有者別状況】

平成18年3月31日現在

| 区分 | 株式の状況（1単元の株式数100株） | | | | | | | 単元未満株 式の状況 （株） | |
|-----------------|--------------------|---------|--------|------------|---------|------|---------|----------------------|---------|
| | 政府及び地 方公共団体 | 金融機関 | 証券会社 | その他の法 人 | 外国法人等 | | 個人その他 | | 計 |
| | | | | | 個人以外 | 個人 | | | |
| 株主数（人） | — | 88 | 31 | 187 | 316 | 5 | 9,812 | 10,439 | — |
| 所有株式数（単元） | — | 577,780 | 10,756 | 108,194 | 515,754 | 64 | 180,911 | 1,393,459 | 282,821 |
| 所有株式数の割合 （%） | — | 41.46 | 0.77 | 7.77 | 37.01 | 0.01 | 12.98 | 100 | — |

（注） 1. 自己株式1,482,083株は「個人その他」に14,820単元、「単元未満株式の状況」に83株含まれております。

2. 上記「その他の法人」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が32単元含まれております。

(5) 【大株主の状況】

平成18年3月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%) |
|--|---|---------------|---------------------------------|
| 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口) | 東京都港区浜松町2丁目11番3号 | 12,060 | 8.63 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 6,893 | 4.93 |
| 日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社 (信託口) | 東京都中央区晴海1丁目8番11号 | 6,444 | 4.61 |
| 朝日生命保険相互会社 | 東京都千代田区大手町2丁目6番1号 | 4,477 | 3.20 |
| ニッセイ同和損害保険株式会社 | 大阪市北区西天満4丁目15番10号 | 3,964 | 2.83 |
| オーエム04 エスエスピー クライアント オムニバス (常任代理人 株式会社三井住友銀行) | 338 PITT STREET SYDNEY NSW 2000 AUSTRALIA (東京都千代田区丸の内1丁目3番2号) | 3,815 | 2.73 |
| 株式会社りそな銀行 | 大阪市中央区備後町2丁目2番1号 | 3,616 | 2.58 |
| ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント (常任代理人 株式会社みずほコーポレート 銀行兜町証券決済業務室) | WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区日本橋兜町6番7号) | 3,580 | 2.56 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート 銀行兜町証券決済業務室) | P. O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U. S. A. (東京都中央区日本橋兜町6番7号) | 3,292 | 2.35 |
| 牛尾 治朗 | 東京都大田区 | 3,201 | 2.29 |
| 計 | — | 51,344 | 36.77 |

(注) 1. キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニーならびにその共同保有者であるキャピタル・インターナショナル・リミテッド、キャピタル・インターナショナル・インクおよびキャピタル・インターナショナル・エス・エイから、平成17年11月14日付で提出された大量保有報告書により平成17年10月31日現在でそれぞれ以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当事業年度末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

| 氏名又は名称 | 住所 | 保有株券等の数 (千株) | 株券保有割合 (%) |
|-----------------------------|---|-----------------|---------------|
| キャピタル・ガーディアン・ トラスト・カンパニー | 11100 Santa Monica Boulevard, 15th Fl., Los Angeles, CA 90071, U. S. A. | 4,366 | 3.12 |
| キャピタル・インターナシヨ ナル・リミテッド | 25 Bedford Street, London, England WC2E 9HN | 5,523 | 3.95 |
| キャピタル・インターナシヨ ナル・インク | 11100 Santa Monica Boulevard, 15th Fl., Los Angeles, CA 90025, U. S. A. | 392 | 0.28 |
| キャピタル・インターナシヨ ナル・エス・エイ | 3 Place des Bergues, 1201 Geneva, Switzerland | 1,130 | 0.80 |

2. シュロージャー投信投資顧問株式会社ならびにその共同保有者であるシュロージャー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・リミテッドおよびシュロージャー・インベストメント・マネージメント・リミテッドから、平成18年4月14日付で提出された大量保有報告書により平成18年3月31日現在でそれぞれ以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当事業年度末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

| 氏名又は名称 | 住所 | 保有株券等の数 (千株) | 株券保有割合 (%) |
|--|-------------------------------------|-----------------|---------------|
| シュロージャー投信投資顧問株式会社 | 東京都千代田区丸の内1丁目11番1号 | 4,591 | 3.28 |
| シュロージャー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・リミテッド | 英国 EC2V 7QA ロンドン、 グレシャム・ストリート 31 | 2,939 | 2.10 |
| シュロージャー・インベストメント・マネージメント・リミテッド | 英国 EC2V 7QA ロンドン、 グレシャム・ストリート 31 | 1,673 | 1.19 |

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成18年3月31日現在

| 区分 | 株式数 (株) | 議決権の数 (個) | 内容 |
|-----------------|------------------|-----------|----|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式 (自己株式等) | — | — | — |
| 議決権制限株式 (その他) | — | — | — |
| 完全議決権株式 (自己株式等) | 普通株式 1,482,000 | — | — |
| 完全議決権株式 (その他) | 普通株式 137,863,900 | 1,378,639 | — |
| 単元未満株式 | 普通株式 282,821 | — | — |
| 発行済株式総数 | 139,628,721 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 1,378,639 | — |

(注) 「完全議決権株式 (その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,200株含まれております。
また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権に係る議決権の数32個が含まれております。

② 【自己株式等】

平成18年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数 (株) | 他人名義所有 株式数 (株) | 所有株式数の 合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%) |
|------------|-----------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------------------------|
| ウシオ電機株式会社 | 東京都千代田区大手 町二丁目6番1号 | 1,482,000 | — | 1,482,000 | 1.06 |
| 計 | — | 1,482,000 | — | 1,482,000 | 1.06 |

(7) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

2【自己株式の取得等の状況】

(1)【定時総会決議又は取締役会決議による自己株式の買受け等の状況】

①【前決議期間における自己株式の取得等の状況】

【株式の種類】 普通株式

イ【定時総会決議による買受けの状況】

該当事項はありません。

ロ【子会社からの買受けの状況】

該当事項はありません。

ハ【取締役会決議による買受けの状況】

平成18年6月29日現在

| 区分 | 株式数(株) | 価額の総額(円) |
|-----------------------------|-----------|---------------|
| 取締役会での決議状況 (平成18年6月9日決議) | 1,000,000 | 2,400,000,000 |
| 前決議期間における取得自己株式 | 456,000 | 1,058,604,000 |
| 残存決議株式数及び価額の総額 | 544,000 | 1,341,396,000 |
| 未行使割合(%) | 54.4 | 55.9 |

(注) 経済情勢や市場動向等の経営環境を総合的に勘案した結果、未行使割合が50%以上となっております。

ニ【取得自己株式の処理状況】

該当事項はありません。

ホ【自己株式の保有状況】

平成18年6月29日現在

| 区分 | 株式数(株) |
|---------|-----------|
| 保有自己株式数 | 1,820,000 |

②【当定時株主総会における自己株式取得に係る決議状況】

平成18年6月29日現在

| 区分 | 株式の種類 | 株式数(株) | 価額の総額(円) |
|-------------|-------|--------|----------|
| 自己株式取得に係る決議 | — | — | — |

(注) 「当会社は、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって市場取引等により自己の株式を取得することができる。」旨を定款に定めております。

(2)【資本減少、定款の定めによる利益による消却又は償還株式の消却に係る自己株式の買受け等の状況】

①【前決議期間における自己株式の買受け等の状況】

該当事項はありません。

②【当定時株主総会における自己株式取得に係る決議状況等】

該当事項はありません。

3【配当政策】

当社は、株主各位に対する利益還元が企業として最重要課題の一つであることを常に認識し、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主各位に対し安定的な利益還元を行なうことを基本としております。

当期の利益配当金につきましては、上記方針に鑑み前期に引続き、1株につき20円と決定いたしました。この結果、当期の配当性向は28.2%、株主資本配当率は2.1%となります。

内部留保資金につきましては、長期的な視野に立った新製品・新技術などの研究開発投資や生産性向上のための設備投資等に充当し、企業体質の強化、企業価値の増大を図ってまいります。

4【株価の推移】

(1)【最近5年間の事業年度別最高・最低株価】

| 回次 | 第39期 | 第40期 | 第41期 | 第42期 | 第43期 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 決算年月 | 平成14年3月 | 平成15年3月 | 平成16年3月 | 平成17年3月 | 平成18年3月 |
| 最高(円) | 2,135 | 1,828 | 2,030 | 2,235 | 3,130 |
| 最低(円) | 1,181 | 1,080 | 1,095 | 1,705 | 1,953 |

(注) 最高・最低株価は東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

(2)【最近6月間の月別最高・最低株価】

| 月別 | 平成17年10月 | 11月 | 12月 | 平成18年1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----------|-------|-------|---------|-------|-------|
| 最高(円) | 2,470 | 2,800 | 3,000 | 3,130 | 3,090 | 2,900 |
| 最低(円) | 2,135 | 2,155 | 2,605 | 2,580 | 2,775 | 2,645 |

(注) 最高・最低株価は東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

5【役員の状況】

| 役名 | 職名 | 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 所有株式数 (千株) |
|----------|---------------------------------------|-------|--------------|---|---------------|
| 代表取締役会長 | | 牛尾 治朗 | 昭和6年2月12日生 | 昭和39年3月 当社設立代表取締役社長 昭和54年4月 当社代表取締役会長（現在） 平成6年3月 (財)ウシオ育英文化財団理事長（現在） 平成14年5月 技術研究組合極端紫外線露光システム技術開発機構理事長（現在） | 3,201 |
| 代表取締役副会長 | | 田中 昭洋 | 昭和18年12月2日生 | 昭和43年2月 当社入社 昭和57年3月 当社管理本部総務部長 平成元年6月 当社取締役 平成3年3月 当社常務取締役 平成6年6月 当社専務取締役 平成7年3月 当社代表取締役社長 平成12年8月 ギガフォトン(株)代表取締役（現在） 平成17年3月 当社代表取締役副会長（現在） | 37 |
| 代表取締役社長 | ランプカンパニー プレジデント | 菅田 史朗 | 昭和24年11月17日生 | 昭和47年4月 当社入社 平成11年1月 当社事業開発室長 当社事業開発室新市場開発部長兼務 平成12年4月 当社事業開発室事業開発部長兼務 平成12年6月 当社取締役 平成14年4月 当社第二事業部門長 平成15年4月 当社ランプカンパニープレジデント（現在） 平成16年6月 当社代表取締役 平成17年3月 当社代表取締役社長（現在） | 14 |
| 取締役 | システムカンパニー プレジデント | 後藤 学 | 昭和23年3月14日生 | 昭和45年4月 当社入社 平成7年3月 当社システム事業部副事業部長 当社システム事業部プロジェクト推進室長兼務 平成8年6月 当社取締役（現在） 平成14年4月 当社システム事業部門長 当社システム事業部門プロジェクト推進室長兼務 平成15年4月 当社システムカンパニープレジデント（現在） | 5 |
| 取締役 | 副管理総括担当 [管理本部担当] 兼管理総括管理 本部長 | 志手 總一 | 昭和21年1月16日生 | 昭和45年4月 当社入社 平成14年4月 当社管理総括社長室長 当社管理総括社長室人事企画グループリーダー兼務 平成15年4月 当社管理総括社長室ゼネラルマネージャー 平成16年4月 当社副管理総括担当[社長室担当] 平成16年6月 当社取締役（現在） 平成17年3月 当社管理総括社長室長兼務 平成18年4月 当社副管理総括担当[管理本部担当]（現在） 当社管理総括管理本部長兼務（現在） | 5 |

| 役名 | 職名 | 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 所有株式数 (千株) |
|-------|---|-------|-------------|--|---------------|
| 取締役 | システムカンパニー・エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼システムカンパニー管理部門ゼネラルマネージャー | 多木 正 | 昭和24年10月5日生 | 昭和48年4月 当社入社 平成14年4月 当社システム事業部門次長 当社システム事業部門事業部門長室長兼務 平成15年4月 当社システムカンパニー・エグゼクティブ・バイス・プレジデント（現在） 当社システムカンパニー業務部ゼネラルマネージャー兼務 平成16年6月 当社取締役（現在） 平成17年3月 当社システムカンパニー管理部門ゼネラルマネージャー兼務（現在） 当社システムカンパニー管理部門管理部ゼネラルマネージャー兼務 | 26 |
| 取締役 | 管理総括担当兼管理総括経営本部長兼管理総括経営本部財務部ゼネラルマネージャー兼関係会社担当兼ランプカンパニー・エグゼクティブ・バイス・プレジデント | 大島 誠司 | 昭和26年3月21日生 | 平成14年9月 当社入社 平成15年4月 当社ランプカンパニー・エグゼクティブ・バイス・プレジデント（現在） 平成16年4月 当社管理総括担当（現在） 当社海外現地法人担当兼務 平成16年6月 ㈱ウシオ総合技術研究所代表取締役（現在） ユーソリューションズ㈱代表取締役会長（現在） 当社取締役（現在） 平成17年3月 当社管理総括経営本部長兼務（現在） 平成18年4月 当社管理総括経営本部財務部ゼネラルマネージャー兼務（現在） 当社関係会社担当兼務（現在） | 5 |
| 取締役 | 副管理総括担当 [社長室担当]兼管理総括社長室長 | 牛尾 志朗 | 昭和33年4月14日生 | 平成3年4月 ㈱ウシオエーテック（現ウシオライティング㈱）入社 平成3年6月 同社取締役 平成4年4月 同社常務取締役 平成8年2月 同社代表取締役社長 平成16年4月 同社代表取締役会長 平成16年6月 当社取締役（現在） 平成17年3月 当社副管理総括担当[経営企画、人事、総務担当] 平成18年4月 当社副管理総括担当[社長室担当]（現在） 当社管理総括社長室長兼務（現在） | 166 |
| 常勤監査役 | | 四分一 直 | 昭和8年9月21日生 | 昭和60年4月 当社入社 常任顧問 昭和60年6月 当社取締役 平成元年3月 当社常務取締役 平成3年3月 当社専務取締役 平成7年6月 当社代表取締役専務取締役 平成16年4月 当社専務取締役 平成16年6月 当社常勤監査役（現在） | 42 |

| 役名 | 職名 | 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 所有株式数 (千株) |
|-------|----|-------|--------------|--|---------------|
| 常勤監査役 | | 垣見 勝紀 | 昭和18年1月25日生 | 昭和48年4月 当社入社 昭和57年3月 当社管理本部秘書室長 平成元年3月 当社管理本部広報室長兼務 平成元年6月 当社取締役 平成3年3月 当社常務取締役 平成7年6月 当社専務取締役 平成12年4月 当社取締役 平成13年4月 当社ランプ第一事業部長 平成13年8月 当社ランプ第三事業部長兼務 平成14年4月 当社第一事業部門長 平成15年4月 当社副管理総括担当[社長室担当] 平成16年6月 当社常勤監査役(現在) | 34 |
| 監査役 | | 関口 伸二 | 昭和16年5月20日生 | 昭和35年4月 ㈱協和銀行(現㈱りそな銀行) 入行 平成8年6月 同行取締役 平成10年6月 同行常務取締役 平成11年6月 昭和地所㈱代表取締役専務取締役 平成13年3月 あさひ総合管理㈱非常勤取締役 平成13年12月 昭和地所㈱代表取締役社長 平成15年6月 当社監査役(現在) | 2 |
| 監査役 | | 服部 秀一 | 昭和28年11月25日生 | 昭和59年4月 弁護士(現在) 平成2年4月 当社顧問弁護士(現在) 平成16年6月 当社監査役(現在) | 1 |
| 監査役 | | 麻生 紘二 | 昭和18年2月21日生 | 昭和41年4月 同和火災海上保険㈱(現ニッセイ同和損害保険㈱) 入社 平成4年6月 同社取締役 平成10年4月 同社常務取締役 平成13年4月 同社専務取締役 平成15年6月 同社代表取締役専務 平成16年6月 同社顧問(現在) 平成18年6月 当社監査役(現在) | — |
| 計 | | | | | 3,543 |

- (注) 1. 取締役牛尾志朗は、代表取締役会長牛尾治朗の子であります。
2. 監査役関口伸二、服部秀一、麻生紘二の3名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

6 【コーポレート・ガバナンスの状況】

※コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

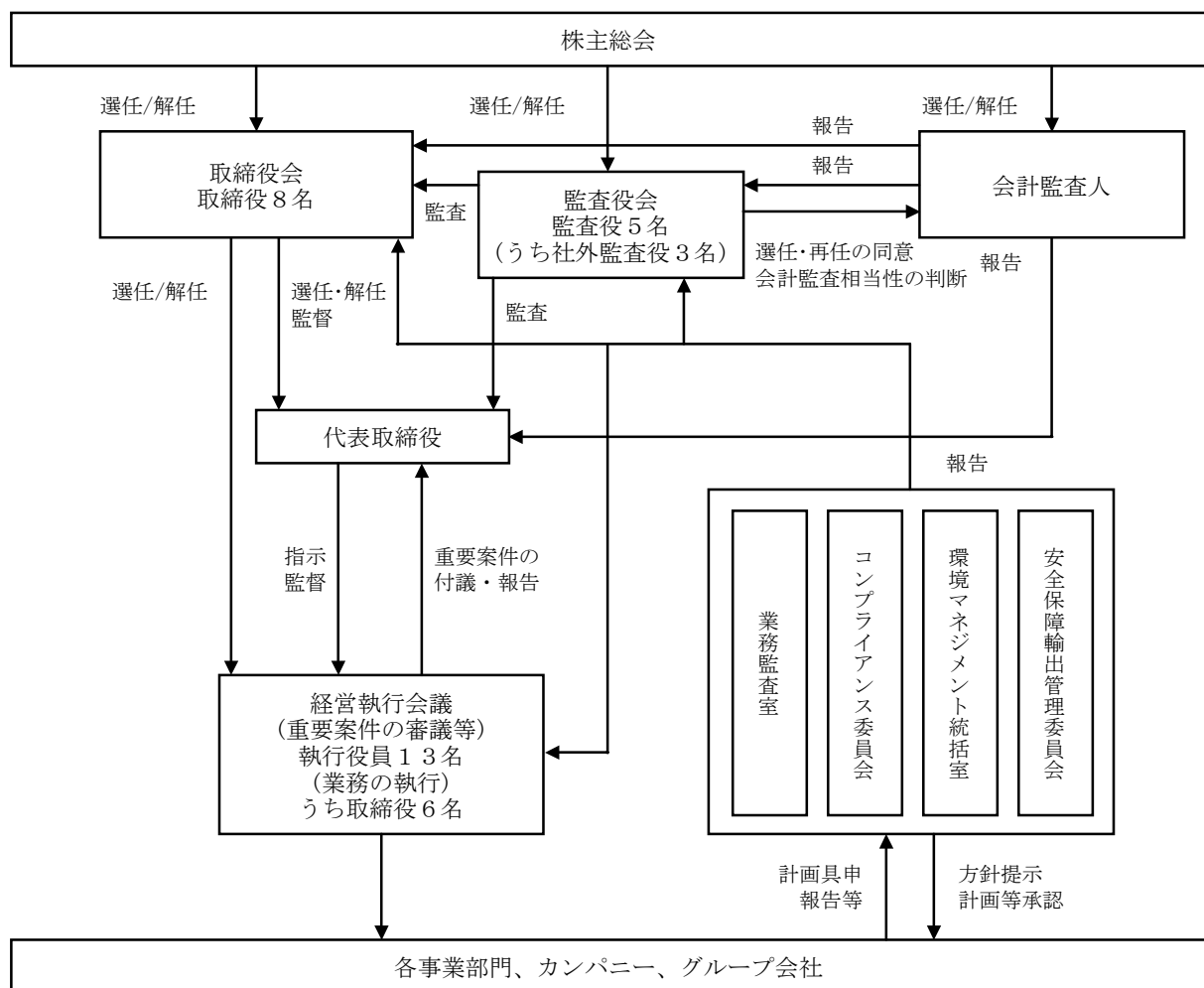
当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、経営の透明性および効率性を確保することにより、会社をとりまくステークホルダーの期待に応じて企業価値を増大させていくことにあり、経営の最重要課題のひとつと認識しております。

(1) 会社の機関の内容および内部統制システムの整備の状況等

①会社の機関の基本説明

当社は監査役会制度を採用しております。当社の経営管理組織としては、経営方針等の重要課題に関する意思決定および業務執行の監督機関として「取締役会」、業務執行機関として「代表取締役」、監査機関として5名の監査役中3名の社外監査役が存在する「監査役会」を設置するとともに、各監査役は各々専門の監査分野を持ち監査を実行しております。さらに、当社ならびにグループ全体の経営戦略や中長期の経営方針等を審議するため「経営執行会議」「グループ経営協議会」「グループ執行役員制度」を設け、取締役会の意思決定を支援するとともに、代表取締役の業務執行の強化や迅速性を高めるため「社内カンパニー制度」や「執行役員制度」を導入しております。

当社の機関・内部統制図は以下のとおりであります。



②会社の機関の内容および内部統制システムの整備状況

当社は、会社法および会社法施行規則にもとづき、以下のとおり、当社ならびにグループ会社全体の内部統制システムを整備いたします。

イ. 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社は、全社員が法令・定款および当社の企業理念を遵守した行動をとるための行動指針を定める。また、その徹底を図るためコンプライアンス委員会を設けることとし、業務監査室はコンプライアンス委員会と連携のうえ、状況を監査し、適宜取締役会および監査役会に報告する。

ロ. 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

別途定める社内規則の規定に基づき、取締役の職務執行に係る情報を文書または電磁的媒体に記録し、保存、管理する。また、取締役および監査役は、これらの文書等を常時閲覧することができるものとする。

ハ. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

コンプライアンス、環境、品質、財務、法務、災害、情報および輸出管理等に係るリスクについては、それぞれの担当部署において規則やガイドラインの制定、研修の実施、マニュアルの作成や配布等を行なうものとし、新たに生じたリスクについては、速やかに対応責任者となる取締役または執行役員を定める。また、リスクが現実化し、重大な損害の発生が予測される場合は、担当取締役ないし執行役員は速やかに取締役会に報告する。

ニ. 取締役の職務の執行が効率的に行なわれることを確保するための体制

執行役員制度により権限の委譲と責任体制の明確化を図るほか、カンパニー制度により目標達成に向けて各カンパニーが実施すべき具体的目標や、権限委譲を含めた効率化の方法を担当取締役および執行役員が定める。情報技術（IT）を活用し、効率化を阻害する要因を排除・低減するなどの改善を行なうことで、目標達成の精度を高め、全社的な業務の効率化を実現するシステムを構築する。

ホ. 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

当社グループに共通の企業理念を定め、グループ全社にコンプライアンス意識の醸成を図る。また、関係会社情報交換会などにより情報の共有化を図るほか、市場競争力の強化を図るため、グループ会社の目標値を年度予算として策定し、それに基づく業績管理を行ない、当社業務監査室がグループ会社の監査を実施する。

ヘ. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項

監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合、取締役会は当該使用人の設置方法、人数、地位等について決議する。

ト. 補助使用人の取締役からの独立性に関する事項

取締役会において監査役の職務を補助すべき使用人を置くことを決議した場合、取締役会は当該使用人の監査役の職務の補助に対する取締役の指揮命令、当該使用人の報酬または人事異動等について、監査役会の意見を尊重し決定する。

チ. 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する事項

取締役または使用人は、監査役会に対して、法定の事項に加え、当社グループ全体に著しい影響を及ぼすおそれのある事項、毎月の経営の状況として重要な事項、内部監査の実施状況等を適宜報告する。

リ. その他監査役の監査が実効的に行なわれることを確保するための体制

監査役会と会計監査人との間で定期的な意見交換を実施する。また、監査役会に対し、管理総括経営本部が主体となり監査が実効的に行なわれるための補助を行う。

③内部監査および監査役監査の状況

当社には5名の監査役がおり、そのうち3名は社外監査役であります。社外監査役および監査役は各々専門の監査分野を持ち監査を実施しております。内部監査部門である業務監査室は、監査役宛に年間の監査契約書を提出して具体的な監査方針を説明するとともに内部監査の結果についても監査役に対して監査結果を報告しております。

④会計監査の状況

イ. 業務を執行した公認会計士の氏名、所属する監査法人名および継続監査年数

| 公認会計士の氏名等 | | 所属する監査法人名 | 継続監査年数 |
|----------------|-------|-----------|---------|
| 指定社員 業務執行社員 | 吉田 高志 | 新日本監査法人 | 12年（注1） |
| | 田中 宏和 | | －（注2） |

（注）1. 同監査法人は、公認会計士法上の規制開始及び日本公認会計士協会の自主規制実施に先立ち自主的に業務執行社員の交替制度を導入しており、同法人において策定された交替計画に基づいて平成19年3月期会計期間をもって交替する予定となっておりましたが、同法人の交替規程改訂により、前倒して平成18年3月期会計期間をもって交替する予定となっております。

2. 7年以内であるため、記載を省略しております。

ロ. 監査業務に係る補助者の構成

公認会計士 10名 会計士補 8名

⑤社外取締役および社外監査役との関係

社外監査役3名と当社との間には、現在特別な利害関係はありません。

(2) リスク管理体制の整備の状況

リスク管理の側面といたしましては、輸出関連リスクに対処する目的で関連する規程を設けこれを遵守するために安全保障輸出管理委員会を設置いたしております。加えて環境規制リスクにつきましては、環境マネジメント統括室を設けてリスクの管理を行っております。また、有価証券などの金融商品の市場リスクにつきましても市場リスク管理規程を設けてリスクの管理を行っております。

(3) 役員報酬の内容

当事業年度における当社の取締役および監査役に対する役員報酬は1,134百万円であります。なお、この取締役および監査役に対する役員報酬の中には、株主総会決議で廃止を決議いたしました役員退職慰労金の打ち切り支給決議分を含んでおります。

(4) 監査報酬の内容

当社の新日本監査法人への公認会計士法（昭和23年法律第103号）第2条第1項に規定する業務に基づく報酬の内容は30百万円であり、それ以外の業務に基づく報酬の内容は0百万円となっております。

第5【経理の状況】

1. 連結財務諸表および財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号。以下「連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、証券取引法第193条の2の規定に基づき、前連結会計年度（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）及び第42期事業年度（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）並びに当連結会計年度（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）及び第43期事業年度（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の連結財務諸表及び財務諸表について、新日本監査法人により監査を受けております。

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

① 【連結貸借対照表】

| 区分 | 注記 番号 | 前連結会計年度 (平成17年3月31日) | | 当連結会計年度 (平成18年3月31日) | | |
|---------------|----------|-------------------------|------------|-------------------------|------------|------|
| | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | |
| (資産の部) | | | | | | |
| I 流動資産 | | | | | | |
| 1. 現金および預金 | | | 24,636 | | 22,182 | |
| 2. 受取手形および売掛金 | ※2,4 | | 35,622 | | 39,793 | |
| 3. 有価証券 | | | 3,399 | | 5,539 | |
| 4. たな卸資産 | ※2 | | 22,431 | | 26,511 | |
| 5. 繰延税金資産 | | | 2,594 | | 2,982 | |
| 6. その他 | | | 5,938 | | 6,484 | |
| 7. 貸倒引当金 | | | △312 | | △618 | |
| 流動資産合計 | | | 94,308 | 50.4 | 102,875 | 48.3 |
| II 固定資産 | | | | | | |
| (1) 有形固定資産 | | | | | | |
| 1. 建物および構築物 | ※2 | 21,149 | | 24,972 | | |
| 減価償却累計額 | | 9,837 | 11,312 | 10,831 | 14,140 | |
| 2. 機械装置および運搬具 | ※2 | 17,382 | | 20,025 | | |
| 減価償却累計額 | | 12,939 | 4,442 | 14,126 | 5,899 | |
| 3. 土地 | ※2 | | 8,198 | | 8,785 | |
| 4. 建設仮勘定 | | | 3,489 | | 936 | |
| 5. その他 | ※2 | 9,828 | | 12,563 | | |
| 減価償却累計額 | | 6,477 | 3,350 | 8,125 | 4,438 | |
| 有形固定資産合計 | | | 30,793 | 16.4 | 34,200 | 16.0 |
| (2) 無形固定資産 | | | 2,720 | 1.5 | 2,325 | 1.1 |

| 区分 | 注記 番号 | 前連結会計年度 (平成17年3月31日) | | 当連結会計年度 (平成18年3月31日) | |
|----------------------|----------|-------------------------|------------|-------------------------|------------|
| | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| (3) 投資その他の資産 | | | | | |
| 1. 投資有価証券 | ※1 | 56,730 | | 70,220 | |
| 2. 長期貸付金 | | 233 | | 461 | |
| 3. 前払年金費用 | | 258 | | 220 | |
| 4. 繰延税金資産 | | 658 | | 540 | |
| 5. その他 | ※1 | 1,768 | | 2,393 | |
| 6. 貸倒引当金 | | △222 | | △210 | |
| 投資その他の資産合計 | | 59,428 | 31.7 | 73,625 | 34.6 |
| 固定資産合計 | | 92,942 | 49.6 | 110,151 | 51.7 |
| 資産合計 | | 187,251 | 100.0 | 213,027 | 100.0 |
| (負債の部) | | | | | |
| I 流動負債 | | | | | |
| 1. 支払手形および買掛金 | | 17,574 | | 17,417 | |
| 2. 短期借入金 | ※2 | 9,783 | | 10,333 | |
| 3. 1年以内返済予定長期 借入金 | ※2 | 466 | | 102 | |
| 4. 未払法人税等 | | 5,746 | | 4,351 | |
| 5. 賞与引当金 | | 2,086 | | 2,061 | |
| 6. その他 | | 5,919 | | 6,739 | |
| 流動負債合計 | | 41,575 | 22.2 | 41,006 | 19.3 |
| II 固定負債 | | | | | |
| 1. 長期借入金 | ※2 | 2,832 | | 3,090 | |
| 2. 繰延税金負債 | | 10,867 | | 15,447 | |
| 3. 退職給付引当金 | | 343 | | 387 | |
| 4. 役員退職給与引当金 | | 851 | | 60 | |
| 5. その他 | ※5 | 977 | | 1,761 | |
| 固定負債合計 | | 15,872 | 8.5 | 20,746 | 9.7 |
| 負債合計 | | 57,448 | 30.7 | 61,753 | 29.0 |
| (少数株主持分) | | | | | |
| 少数株主持分 | | 501 | 0.2 | 740 | 0.3 |

| 区分 | 注記 番号 | 前連結会計年度 (平成17年3月31日) | | 当連結会計年度 (平成18年3月31日) | |
|----------------------|----------|-------------------------|------------|-------------------------|------------|
| | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| (資本の部) | | | | | |
| I 資本金 | ※6 | 19,556 | 10.4 | 19,556 | 9.2 |
| II 資本剰余金 | | 28,371 | 15.2 | 28,371 | 13.3 |
| III 利益剰余金 | | 67,219 | 35.9 | 79,350 | 37.3 |
| IV その他有価証券評価差額 金 | | 17,950 | 9.6 | 24,611 | 11.6 |
| V 為替換算調整勘定 | | △1,960 | △1.0 | 539 | 0.2 |
| VI 自己株式 | ※7 | △1,834 | △1.0 | △1,895 | △0.9 |
| 資本合計 | | 129,302 | 69.1 | 150,533 | 70.7 |
| 負債、少数株主持分および 資本合計 | | 187,251 | 100.0 | 213,027 | 100.0 |
| | | | | | |

②【連結損益計算書】

| 区分 | 注記 番号 | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | | |
|--------------------|----------|--|------------|--|------------|--------|------|
| | | 金額 (百万円) | 百分比 (%) | 金額 (百万円) | 百分比 (%) | | |
| I 売上高 | | | 119,159 | 100.0 | 129,284 | 100.0 | |
| II 売上原価 | | | 75,845 | 63.7 | 85,025 | 65.8 | |
| 売上総利益 | | | 43,313 | 36.3 | 44,258 | 34.2 | |
| III 販売費および一般管理費 | ※1,2 | | 23,124 | 19.4 | 25,757 | 19.9 | |
| 営業利益 | | | 20,189 | 16.9 | 18,501 | 14.3 | |
| IV 営業外収益 | | | | | | | |
| 1. 受取利息 | | 617 | | | 663 | | |
| 2. 受取配当金 | | 399 | | | 493 | | |
| 3. 売買目的有価証券運用 益 | | 34 | | | 255 | | |
| 4. 為替差益 | | 746 | | | 555 | | |
| 5. 投資有価証券売却益 | | 456 | | | 1,309 | | |
| 6. 投資事業組合運用益 | | — | | | 1,014 | | |
| 7. 持分法による投資利益 | | 79 | | | 409 | | |
| 8. その他 | | 665 | 2,998 | 2.5 | 816 | 5,518 | 4.3 |
| V 営業外費用 | | | | | | | |
| 1. 支払利息 | | 293 | | | 416 | | |
| 2. たな卸資産除却損 | | 91 | | | 111 | | |
| 3. その他 | | 395 | 780 | 0.6 | 285 | 812 | 0.6 |
| 経常利益 | | | 22,407 | 18.8 | | 23,207 | 18.0 |
| VI 特別利益 | | | | | | | |
| 1. 固定資産売却益 | ※3 | 84 | 84 | 0.1 | 101 | 101 | 0.0 |
| VII 特別損失 | | | | | | | |
| 1. 固定資産除却損 | ※4 | 327 | | | 96 | | |
| 2. 固定資産売却損 | ※5 | 217 | | | 10 | | |
| 3. 減損損失 | ※6 | 356 | | | 4 | | |
| 4. 役員退職慰労金 | | — | 901 | 0.8 | 27 | 138 | 0.1 |
| 税金等調整前当期純利 益 | | | 21,591 | 18.1 | | 23,170 | 17.9 |
| 法人税、住民税および 事業税 | | 8,298 | | | 8,253 | | |
| 法人税等調整額 | | △603 | 7,694 | 6.5 | △187 | 8,066 | 6.2 |
| 少数株主利益 | | | 262 | 0.2 | | 209 | 0.2 |
| 当期純利益 | | | 13,634 | 11.4 | | 14,895 | 11.5 |

③【連結剰余金計算書】

| | | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | |
|----------------------|----------|--|--------|--|--------|
| 区分 | 注記 番号 | 金額 (百万円) | | 金額 (百万円) | |
| (資本剰余金の部) | | | | | |
| I 資本剰余金期首残高 | | | 28,118 | | 28,371 |
| II 資本剰余金増加高 | | | | | |
| 1. 自己株式処分差益 | | 252 | 252 | | — |
| III 資本剰余金期末残高 | | | 28,371 | | 28,371 |
| (利益剰余金の部) | | | | | |
| I 利益剰余金期首残高 | | | 56,394 | | 67,219 |
| II 利益剰余金増加高 | | | | | |
| 1. 当期純利益 | | 13,634 | 13,634 | 14,895 | 14,895 |
| III 利益剰余金減少高 | | | | | |
| 1. 配当金 | | 2,757 | | 2,763 | |
| 2. 役員賞与 (うち監査役賞与) | | 52 (1) | 2,809 | — (—) | 2,763 |
| IV 利益剰余金期末残高 | | | 67,219 | | 79,350 |

④【連結キャッシュ・フロー計算書】

| | | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|---------------------|----------|--|--|
| 区分 | 注記 番号 | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 税金等調整前当期純利益 | | 21,591 | 23,170 |
| 減価償却費 | | 3,014 | 4,763 |
| 受取利息および受取配当金 | | △1,016 | △1,156 |
| 支払利息 | | 293 | 416 |
| 売買目的有価証券運用益 | | △34 | △255 |
| 投資事業組合運用益 | | — | △1,014 |
| 持分法による投資利益 | | △79 | △409 |
| 有形固定資産売却益 | | △84 | △101 |
| 有形固定資産売却損 | | 217 | 10 |
| 有形固定資産除却損 | | 327 | 96 |
| 減損損失 | | 356 | 4 |
| 連結調整勘定一時償却額 | | △21 | — |
| 投資有価証券売却益 | | △456 | △1,309 |
| 売上債権の増加額 | | △2,614 | △3,045 |
| たな卸資産の増加額 | | △5,034 | △2,283 |
| 仕入債務の増加額 (又は減少額) | | 2,957 | △633 |
| 未払費用の増加額 | | 11 | 176 |
| その他 | | △389 | 174 |
| 役員賞与の支払額 | | △52 | — |
| 小計 | | 18,985 | 18,602 |
| 利息および配当金の受取額 | | 1,217 | 1,256 |
| 利息の支払額 | | △291 | △422 |
| 法人税等の支払額 | | △7,503 | △10,038 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 12,408 | 9,397 |

| | | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|---------------------|----------|--|--|
| 区分 | 注記 番号 | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 定期預金の預入による支出 | | △1,481 | △1,389 |
| 定期預金の払戻による収入 | | 1,342 | 1,415 |
| 短期貸付けによる支出 | | — | △2,932 |
| 短期貸付金の回収による収入 | | — | 1,720 |
| 有価証券の取得による支出 | | △881 | △1,099 |
| 有価証券の償還および売却による収入 | | 6,327 | 1,050 |
| 有形固定資産の取得による支出 | | △8,403 | △8,119 |
| 有形固定資産の売却による収入 | | 437 | 269 |
| 無形固定資産の取得による支出 | | △1,623 | △199 |
| 投資有価証券の取得による支出 | | △4,163 | △5,014 |
| 投資有価証券の売却による収入 | | 952 | 3,598 |
| 新規連結子会社の株式取得に伴う支出 | | — | △40 |
| 出資金の取得による支出 | | — | △193 |
| 長期貸付けによる支出 | | △138 | △502 |
| 長期貸付金の回収による収入 | | 1,073 | 1,660 |
| その他 | | 86 | 14 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △6,473 | △9,762 |

| | | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|--------------------------|----------|--|--|
| 区分 | 注記 番号 | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 短期借入金の純増減額 | | 1,337 | △346 |
| 長期借入れによる収入 | | 2,480 | 360 |
| 長期借入金の返済による支出 | | △2,757 | △466 |
| 自己株式の取得による支出 | | △205 | △61 |
| 自己株式の売却による収入 | | 155 | — |
| 配当金の支払額 | | △2,752 | △2,756 |
| 少数株主への配当金の支払額 | | △30 | △53 |
| 少数株主からの払込による収入 | | 15 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △1,758 | △3,324 |
| IV 現金および現金同等物に係る換算差額 | | 363 | 954 |
| V 現金および現金同等物の増加額 (又は減少額) | | 4,540 | △2,734 |
| VI 現金および現金同等物の期首残高 | | 20,895 | 25,436 |
| VII 現金および現金同等物の期末残高 | | 25,436 | 22,701 |
| | | | |

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|----------------------|--|---|
| 1. 連結の範囲に関する事項 | <p>連結子会社 35社</p> <p>主要会社名は「第1. 企業の概況」に記載しております。なお、当連結会計年度中の連結子会社の異動は次のとおりです。</p> <p>(新規)・新規設立により連結子会社となった会社1社 Christie Digital Systems (Shanghai) Ltd.</p> <p>(除外)・合併により連結子会社から除外した会社2社 ウシオライティング㈱ ㈱ウシオユーテックと合併し、合併後の社名はウシオライティング㈱となりました。 Ushio Oregon, Inc. Ushio America, Inc. と合併し、合併後の社名はUshio America, Inc. となりました。</p> | <p>連結子会社 36社</p> <p>主要会社名は「第1. 企業の概況」に記載しております。なお、当連結会計年度中の連結子会社の異動は次のとおりです。</p> <p>(新規)・設立により連結子会社となった会社1社 兵庫ウシオライティング㈱</p> <p>・新規取得により連結子会社となった会社1社 Natrium S. A.</p> <p>(除外)・清算により連結子会社から除外した会社1社 ㈱まっくろうは、当期に清算したため、連結の範囲から除外しております。</p> |
| 2. 持分法の適用に関する事項 | <p>関連会社である㈱ウシオスペックス、ギガフォトン㈱、VaConics Lighting, Inc. の3社全てに、持分法を適用しております。</p> <p>(新規)・新規取得により持分法適用会社となった会社1社 VaConics Lighting, Inc.</p> | <p>関連会社である㈱ウシオスペックス、ギガフォトン㈱、XTREME technologies GmbH、VaConics Lighting, Inc. の4社全てに、持分法を適用しております。</p> <p>(新規)・新規取得により持分法適用会社となった会社1社 XTREME technologies GmbH</p> |
| 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項 | <p>連結子会社のうちUshio (Suzhou) Co., Ltd.、USHIO SHANGHAI, INC.、Christie Digital Systems (Shanghai) Ltd. の決算日は12月31日であります。連結財務諸表の作成に当たって、これらの会社については、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> | <p>連結子会社のうちUshio (Suzhou) Co., Ltd.、USHIO SHANGHAI, INC.、Christie Digital Systems (Shanghai) Ltd.、Natrium S. A. の決算日は12月31日であります。</p> <p>連結財務諸表の作成に当たって、Ushio (Suzhou) Co., Ltd.、USHIO SHANGHAI, INC.、Christie Digital Systems (Shanghai) Ltd. については、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>Natrium S. A. については、12月31日現在の財務諸表を使用しております。ただし、1月1日から連結決算日3月31日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p> |

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 4. 会計処理基準に関する事項 | <p>(1) 重要な資産の評価基準および評価方法</p> <p>(イ) 有価証券</p> <p>① 売買目的有価証券 時価法（売却原価は移動平均法により算定）</p> <p>② 満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）</p> <p>③ その他有価証券 時価のあるもの 連結決算日の市場価格等（株式については決算日前1ヶ月の市場価格の平均）に基づく時価法を採用しております。（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>④ 投資事業有限責任組合およびそれに類する組合への出資（証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの） 組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書類を基礎とし、持分相当額を取り込む方法によっております。</p> <p>(ロ) デリバティブ 時価法</p> <p>(ハ) 運用目的の金銭の信託 時価法</p> <p>(ニ) たな卸資産</p> <p style="padding-left: 40px;">(当社) (子会社)</p> <p style="padding-left: 40px;">製品・商 … 総平均法 主として 品・仕掛 … による原 先入先出 品 … 価法 … 法による 低価法</p> <p style="padding-left: 40px;">原材料 … 移動平均 主として 法による 先入先出 原価法 … 法による 低価法</p> | <p>(1) 重要な資産の評価基準および評価方法</p> <p>(イ) 有価証券</p> <p>① 売買目的有価証券 同左</p> <p>② 満期保有目的の債券 同左</p> <p>③ その他有価証券 時価のあるもの 同左</p> <p style="padding-left: 40px;">時価のないもの 同左</p> <p>④ 投資事業有限責任組合およびそれに類する組合への出資（証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの） 同左</p> <p>(ロ) デリバティブ 同左</p> <p>(ハ) 運用目的の金銭の信託 同左</p> <p>(ニ) たな卸資産 同左</p> |

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|----|--|---|
| | <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>(イ) 有形固定資産</p> <p>(i) 当社および国内連結子会社 主として定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <p>建物および構築物 7～50年</p> <p>機械装置および運搬具 3～8年</p> <p>その他 2～15年</p> <p>(ii) 在外連結子会社 主として定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <p>建物および構築物 10～39年</p> <p>機械装置および運搬具 5～10年</p> <p>その他 2～10年</p> <p>(ロ) 無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込み利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。</p> | <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>(イ) 有形固定資産</p> <p>(i) 当社および国内連結子会社 同左</p> <p>(ii) 在外連結子会社 同左</p> <p>(ロ) 無形固定資産 同左</p> |

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|----|---|---|
| | <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>(イ) 貸倒引当金</p> <p>(i) 当社および国内連結子会社 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(ii) 在外連結子会社 債権の貸倒による損失に備えるため、個々の債権の回収の可能性を勘案して、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(ロ) 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>(ハ) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。 当連結会計年度については、厚生年金基金制度における年金資産見込額が退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異および未認識過去勤務債務を加減した額を超過しているため、超過額を前払年金費用に計上しております。 過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（15年）による定額法により費用処理しております。 数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（15年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することとしております。</p> | <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>(イ) 貸倒引当金</p> <p>(i) 当社および国内連結子会社 同左</p> <p>(ii) 在外連結子会社 同左</p> <p>(ロ) 賞与引当金 同左</p> <p>(ハ) 退職給付引当金 同左</p> |

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|----|--|--|
| | <p>(二) 役員退職給与引当金 当社および国内連結子会社では、役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上しております。</p> <p>(4) 重要なリース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>(5) 重要なヘッジ会計の方法 (イ) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。</p> <p>(ロ) ヘッジ手段とヘッジ対象 a. ヘッジ手段…為替予約 ヘッジ対象…外貨建有価証券</p> <p>b. ヘッジ手段…金利スワップ ヘッジ対象…借入金</p> <p>(ハ) ヘッジ方針 当グループでは、内部規程である「市場リスク管理規程」および「デリバティブ管理規程」に基づき、為替変動リスクおよび金利変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(ニ) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象の相場変動またはキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動またはキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額等を基礎にして評価しております。</p> | <p>(二) 役員退職給与引当金 国内連結子会社では、役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上しております。</p> <p>なお、当社の取締役および監査役の退職慰労金制度については、役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職給与引当金として計上していましたが、平成17年6月29日開催の定時株主総会終結の時をもって廃止しました。これに伴い、これまでの在任期間に応じた退職慰労金の打ち切り支給を同株主総会にて決議しました。なお、在任期間に応じた役員退職慰労金の支給決議額816百万円については、固定負債の「その他」に含めて表示しております。</p> <p>(4) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(5) 重要なヘッジ会計の方法 (イ) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(ロ) ヘッジ手段とヘッジ対象 a. ヘッジ手段…為替予約 ヘッジ対象…外貨建予定取引 外貨建有価証券</p> <p>b. ヘッジ手段…金利スワップ ヘッジ対象…借入金</p> <p>(ハ) ヘッジ方針 同左</p> <p>(ニ) ヘッジ有効性評価の方法 同左</p> |

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|----------------------------|---|---|
| | (6) その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 (イ) 消費税等の会計処理方法 税抜方式を採用しております。 | (6) その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 (イ) 消費税等の会計処理方法 同左 |
| 5. 連結子会社の資産および負債の評価に関する事項 | 連結子会社の資産および負債の評価については、全面時価評価法を採用しております。 | 同左 |
| 6. 連結調整勘定の償却に関する事項 | 連結調整勘定の償却については、当連結会計年度において発生した連結調整勘定について金額が僅少のため、一時償却しております。 | 連結調整勘定の償却については、5年間の均等償却を行っており、金額が僅少なものであるについては、発生年度に全額償却しております。 |
| 7. 利益処分項目等の取扱いに関する事項 | 連結剰余金計算書については、連結会計年度中に確定した連結会社の利益処分に基づいて作成しております。 | 同左 |
| 8. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 | 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。 | 同左 |

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

| 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|--|--|
| (固定資産の減損に係る会計基準) 固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日)が平成16年3月31日に終了する連結会計年度に係る連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、当連結会計年度から同会計基準および同適用指針を適用しております。これにより税金等調整前当期純利益は356百万円減少しております。 | ————— |

表示方法の変更

| <p>前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)</p> | <p>当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)</p> |
|--|---|
| <p>(連結貸借対照表)</p> <p>「証券取引法等の一部を改正する法律」(平成16年法律第97号)が平成16年6月9日に公布され、平成16年12月1日より適用となることおよび「金融商品会計に関する実務指針」(会計制度委員会報告第14号)が平成17年2月15日付で改正されたことに伴い、当連結会計年度から投資事業有限責任組合およびそれに類する組合への出資(証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)を「投資有価証券」として表示する方法に変更いたしました。</p> <p>なお、当連結会計年度の「投資有価証券」に含まれる当該出資の額は2,674百万円、前連結会計年度における投資その他の資産「その他」に含まれている当該出資の額は2,906百万円であります。</p> <hr/> <p>(連結キャッシュ・フロー計算書)</p> <p>投資活動によるキャッシュ・フローの「無形固定資産の取得による支出」は、前連結会計年度は投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増したため当連結会計年度より区分掲記しております。</p> <p>なお、前連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含まれている「無形固定資産の取得による支出」は、737百万円であります。</p> | <hr/> <p>(連結損益計算書)</p> <p>「投資事業組合運用益」は、前連結会計年度まで営業外収益の「その他」に含めて表示しておりましたが、当連結会計年度より区分掲記しております。</p> <p>なお、前連結会計年度の「投資事業組合運用益」は127百万円であります。</p> <hr/> |

注記事項
(連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (平成18年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------|--------|-----|-------|-------|--------|------------|-------|-----------|-------|-----------|---------------|-------|-------|---------------|------|-------|------|-----------|--------------|---|------------|----------|-------------------|--------|-------|-------|----------|-------|------------|-------|----|------|-----------|-------|-----------|---------------|-------|-------|---------------|------|-----------|--------------|
| <p>※1. 関連会社に対するものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">投資有価証券(株式)</td> <td style="text-align: right;">540百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 担保資産および担保付債務</p> <p>担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">売掛金</td> <td style="text-align: right;">50百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">たな卸資産</td> <td style="text-align: right;">170百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">機械装置および運搬具</td> <td style="text-align: right;">26百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他有形固定資産</td> <td style="text-align: right;">30百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;"><u>合計</u></td> <td style="text-align: right;"><u>278百万円</u></td> </tr> </table> <p>担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">30百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1年以内返済予定長期借入金</td> <td style="text-align: right;">9百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">長期借入金</td> <td style="text-align: right;">5百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;"><u>合計</u></td> <td style="text-align: right;"><u>44百万円</u></td> </tr> </table> <p>※3. _____</p> <p>※4. _____</p> <p>※5. _____</p> <p>※6. 当社の発行済株式総数は、普通株式139,628,721株であります。</p> <p>※7. 当社が保有する自己株式の数は、普通株式1,455,200株であります。</p> | 投資有価証券(株式) | 540百万円 | 売掛金 | 50百万円 | たな卸資産 | 170百万円 | 機械装置および運搬具 | 26百万円 | その他有形固定資産 | 30百万円 | <u>合計</u> | <u>278百万円</u> | 短期借入金 | 30百万円 | 1年以内返済予定長期借入金 | 9百万円 | 長期借入金 | 5百万円 | <u>合計</u> | <u>44百万円</u> | <p>※1. 関連会社に対するものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">投資有価証券(株式)</td> <td style="text-align: right;">1,031百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">投資その他の資産 その他(出資金)</td> <td style="text-align: right;">554百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 担保資産および担保付債務</p> <p>担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">たな卸資産</td> <td style="text-align: right;">58百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物および構築物</td> <td style="text-align: right;">22百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">機械装置および運搬具</td> <td style="text-align: right;">27百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">4百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他有形固定資産</td> <td style="text-align: right;">62百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;"><u>合計</u></td> <td style="text-align: right;"><u>176百万円</u></td> </tr> </table> <p>担保付債務は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">62百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1年以内返済予定長期借入金</td> <td style="text-align: right;">2百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;"><u>合計</u></td> <td style="text-align: right;"><u>64百万円</u></td> </tr> </table> <p>3. 保証債務</p> <p>関係会社について、取引先からの借入に対し293百万円の債務の保証を行っております。</p> <p>※4. 輸出手形割引高 239百万円</p> <p>※5. 連結調整勘定</p> <p>固定負債の「その他」に、40百万円含まれております。</p> <p>※6. 当社の発行済株式総数は、普通株式139,628,721株であります。</p> <p>※7. 当社が保有する自己株式の数は、普通株式1,482,083株であります。</p> | 投資有価証券(株式) | 1,031百万円 | 投資その他の資産 その他(出資金) | 554百万円 | たな卸資産 | 58百万円 | 建物および構築物 | 22百万円 | 機械装置および運搬具 | 27百万円 | 土地 | 4百万円 | その他有形固定資産 | 62百万円 | <u>合計</u> | <u>176百万円</u> | 短期借入金 | 62百万円 | 1年以内返済予定長期借入金 | 2百万円 | <u>合計</u> | <u>64百万円</u> |
| 投資有価証券(株式) | 540百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 売掛金 | 50百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産 | 170百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械装置および運搬具 | 26百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他有形固定資産 | 30百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>合計</u> | <u>278百万円</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 短期借入金 | 30百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年以内返済予定長期借入金 | 9百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期借入金 | 5百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>合計</u> | <u>44百万円</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 投資有価証券(株式) | 1,031百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 投資その他の資産 その他(出資金) | 554百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産 | 58百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物および構築物 | 22百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械装置および運搬具 | 27百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 4百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他有形固定資産 | 62百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>合計</u> | <u>176百万円</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 短期借入金 | 62百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年以内返済予定長期借入金 | 2百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>合計</u> | <u>64百万円</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(連結損益計算書関係)

| 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------|----------|--------|--------|--------|--------------|--------|-------|----------|----------|-------|----|----|----|---------|------|----|---------|------|----|--------|------|----|--------|------|----|--------|-------|----|---|------|----------|----------|--------|--------|--------|--------------|-------|-------|----------|----------|--------|
| <p>※1. 販売費および一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">給与賃金</td><td style="text-align: right;">5,707百万円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">814百万円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">268百万円</td></tr> <tr><td>役員退職給与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">118百万円</td></tr> <tr><td>研究開発費</td><td style="text-align: right;">4,174百万円</td></tr> <tr><td>貸倒引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">52百万円</td></tr> </table> <p>※2. 研究開発費の総額は4,174百万円であります。</p> <p>※3. 土地の売却益81百万円ほかであります。</p> <p>※4. 建物および構築物の除却損199百万円、機械装置および工具器具備品の除却損122百万円ほかであります。</p> <p>※5. 土地の売却損217百万円ほかであります。</p> <p>※6. 減損損失 当連結会計年度において、当グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr><th style="width: 25%;">場所</th><th style="width: 45%;">用途</th><th style="width: 30%;">種類</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>神奈川県横浜市</td><td>遊休資産</td><td>土地</td></tr> <tr><td>静岡県御殿場市</td><td>遊休資産</td><td>土地</td></tr> <tr><td>兵庫県神崎郡</td><td>遊休資産</td><td>土地</td></tr> <tr><td>長野県南牧村</td><td>遊休資産</td><td>土地</td></tr> <tr><td>兵庫県神戸市</td><td>賃貸駐車場</td><td>土地</td></tr> </tbody> </table> <p>当グループは、固定資産を継続的に損益の把握を実施している単位および遊休資産にグルーピングしております。</p> <p>地価の下落により、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(356百万円)として特別損失に計上しました。なお、当該資産グループの回収可能価額は主に不動産鑑定評価額に基づく正味売却価額により測定しております。</p> | 給与賃金 | 5,707百万円 | 賞与引当金繰入額 | 814百万円 | 退職給付費用 | 268百万円 | 役員退職給与引当金繰入額 | 118百万円 | 研究開発費 | 4,174百万円 | 貸倒引当金繰入額 | 52百万円 | 場所 | 用途 | 種類 | 神奈川県横浜市 | 遊休資産 | 土地 | 静岡県御殿場市 | 遊休資産 | 土地 | 兵庫県神崎郡 | 遊休資産 | 土地 | 長野県南牧村 | 遊休資産 | 土地 | 兵庫県神戸市 | 賃貸駐車場 | 土地 | <p>※1. 販売費および一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">給与賃金</td><td style="text-align: right;">6,278百万円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">670百万円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">359百万円</td></tr> <tr><td>役員退職給与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">15百万円</td></tr> <tr><td>研究開発費</td><td style="text-align: right;">4,645百万円</td></tr> <tr><td>貸倒引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">294百万円</td></tr> </table> <p>※2. 研究開発費の総額は4,645百万円であります。</p> <p>※3. 土地の売却益101百万円ほかであります。</p> <p>※4. 建物および構築物の除却損59百万円、機械装置および工具器具備品の除却損36百万円ほかであります。</p> <p>※5. 機械装置および工具器具備品の売却損10百万円あります。</p> <p>※6. _____</p> | 給与賃金 | 6,278百万円 | 賞与引当金繰入額 | 670百万円 | 退職給付費用 | 359百万円 | 役員退職給与引当金繰入額 | 15百万円 | 研究開発費 | 4,645百万円 | 貸倒引当金繰入額 | 294百万円 |
| 給与賃金 | 5,707百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 814百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 268百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職給与引当金繰入額 | 118百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究開発費 | 4,174百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 52百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 場所 | 用途 | 種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神奈川県横浜市 | 遊休資産 | 土地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 静岡県御殿場市 | 遊休資産 | 土地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 兵庫県神崎郡 | 遊休資産 | 土地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長野県南牧村 | 遊休資産 | 土地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 兵庫県神戸市 | 賃貸駐車場 | 土地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給与賃金 | 6,278百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 670百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 359百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職給与引当金繰入額 | 15百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究開発費 | 4,645百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 294百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------|------------------|------------|--------|----------|----------------------|------------|------------|-----------|--|-----------|-----------|------------------|------------|--------|----------|----------------------|------------|------------|-----------|
| <p>現金および現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">現金および預金勘定</td><td style="text-align: right;">24,636百万円</td></tr> <tr><td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td><td style="text-align: right;">△ 1,088百万円</td></tr> <tr><td>有価証券勘定</td><td style="text-align: right;">3,399百万円</td></tr> <tr><td>株式および償還期間が3ヶ月を超える債券等</td><td style="text-align: right;">△ 1,511百万円</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">現金および現金同等物</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">25,436百万円</td></tr> </table> | 現金および預金勘定 | 24,636百万円 | 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | △ 1,088百万円 | 有価証券勘定 | 3,399百万円 | 株式および償還期間が3ヶ月を超える債券等 | △ 1,511百万円 | 現金および現金同等物 | 25,436百万円 | <p>現金および現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">現金および預金勘定</td><td style="text-align: right;">22,182百万円</td></tr> <tr><td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td><td style="text-align: right;">△ 1,147百万円</td></tr> <tr><td>有価証券勘定</td><td style="text-align: right;">5,539百万円</td></tr> <tr><td>株式および償還期間が3ヶ月を超える債券等</td><td style="text-align: right;">△ 3,873百万円</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">現金および現金同等物</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">22,701百万円</td></tr> </table> | 現金および預金勘定 | 22,182百万円 | 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | △ 1,147百万円 | 有価証券勘定 | 5,539百万円 | 株式および償還期間が3ヶ月を超える債券等 | △ 3,873百万円 | 現金および現金同等物 | 22,701百万円 |
| 現金および預金勘定 | 24,636百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | △ 1,088百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有価証券勘定 | 3,399百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式および償還期間が3ヶ月を超える債券等 | △ 1,511百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金および現金同等物 | 25,436百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金および預金勘定 | 22,182百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | △ 1,147百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有価証券勘定 | 5,539百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式および償還期間が3ヶ月を超える債券等 | △ 3,873百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金および現金同等物 | 22,701百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(リース取引関係)

| 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | | | | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | | | |
|--|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------------|-------------|--|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------------|-------------|
| リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 | | | | | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 | | | | |
| 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額 | | | | | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額 | | | | |
| | 機械装置 および運 搬具 (百万円) | その他 (工具器 具備品) (百万円) | 無形固定 資産 (ソフト ウェア) (百万円) | 合計 (百万円) | | 機械装置 および運 搬具 (百万円) | その他 (工具器 具備品) (百万円) | 無形固定 資産 (ソフト ウェア) (百万円) | 合計 (百万円) |
| 取得価額 相当額 | 72 | 266 | 104 | 442 | 取得価額 相当額 | 48 | 202 | 36 | 287 |
| 減価償却 累計額相 当額 | 48 | 177 | 72 | 298 | 減価償却 累計額相 当額 | 20 | 149 | 19 | 190 |
| 期末残高 相当額 | 23 | 88 | 32 | 144 | 期末残高 相当額 | 27 | 52 | 16 | 97 |
| (注) 取得価額相当額は、有形固定資産の期末残高等に占める未経過リース料期末残高の割合が低いいため、支払利子込み法により算定しております。 | | | | | 同左 | | | | |
| 2. 未経過リース料期末残高相当額 | | | | | 2. 未経過リース料期末残高相当額 | | | | |
| 1年以内 74百万円 | | | | | 1年以内 49百万円 | | | | |
| 1年超 69百万円 | | | | | 1年超 47百万円 | | | | |
| 合計 144百万円 | | | | | 合計 97百万円 | | | | |
| (注) 未経過リース料期末残高相当額は、有形固定資産の期末残高等に占める未経過リース料期末残高の割合が低いいため、支払利子込み法により算定しております。 | | | | | 同左 | | | | |
| 3. 支払リース料および減価償却費相当額 | | | | | 3. 支払リース料および減価償却費相当額 | | | | |
| 支払リース料 105百万円 | | | | | 支払リース料 76百万円 | | | | |
| 減価償却費相当額 105百万円 | | | | | 減価償却費相当額 76百万円 | | | | |
| 4. 減価償却費相当額の算定方法 | | | | | 4. 減価償却費相当額の算定方法 | | | | |
| リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 | | | | | 同左 | | | | |
| オペレーティング・リース取引 | | | | | オペレーティング・リース取引 | | | | |
| 未経過リース料 | | | | | 未経過リース料 | | | | |
| 1年以内 125百万円 | | | | | 1年以内 156百万円 | | | | |
| 1年超 254百万円 | | | | | 1年超 278百万円 | | | | |
| 合計 379百万円 | | | | | 合計 435百万円 | | | | |

(有価証券関係)
前連結会計年度(平成17年3月31日)

1. 売買目的有価証券

| 連結貸借対照表計上額(百万円) | 当連結会計年度の損益に含まれた評価差額(百万円) |
|-----------------|--------------------------|
| 427 | 31 |

2. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

| | 種類 | 連結貸借対照表計上額(百万円) | 時価(百万円) | 差額(百万円) |
|----------------------|-------------|-----------------|---------|---------|
| 時価が連結貸借対照表計上額を超えるもの | (1) 国債・地方債等 | — | — | — |
| | (2) 社債 | 238 | 240 | 2 |
| | (3) その他 | — | — | — |
| | 小計 | 238 | 240 | 2 |
| 時価が連結貸借対照表計上額を超えないもの | (1) 国債・地方債等 | — | — | — |
| | (2) 社債 | — | — | — |
| | (3) その他 | 1 | 1 | — |
| | 小計 | 1 | 1 | — |
| 合計 | | 239 | 242 | 2 |

3. その他有価証券で時価のあるもの

| | 種類 | 取得原価(百万円) | 連結貸借対照表計上額(百万円) | 差額(百万円) |
|------------------------|----------|-----------|-----------------|---------|
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの | (1) 株式 | 8,932 | 39,461 | 30,529 |
| | (2) 債券 | | | |
| | ①国債・地方債等 | 952 | 976 | 23 |
| | ②社債 | 3,344 | 3,406 | 61 |
| | (3) その他 | 704 | 937 | 233 |
| | 小計 | 13,934 | 44,782 | 30,847 |
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | (1) 株式 | 152 | 128 | △23 |
| | (2) 債券 | | | |
| | ①国債・地方債等 | — | — | — |
| | ②社債 | 5,889 | 5,343 | △546 |
| | (3) その他 | 3,470 | 3,002 | △467 |
| | 小計 | 9,513 | 8,475 | △1,037 |
| 合計 | | 23,447 | 53,257 | 29,809 |

4. 当連結会計年度中に売却したその他有価証券（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

| 売却額 (百万円) | 売却益の合計額 (百万円) | 売却損の合計額 (百万円) |
|--------------|------------------|------------------|
| 9,930 | 456 | 32 |

(注) 上記の売却額には、連結キャッシュ・フロー計算書上の現金および現金同等物の売却額が含まれております。

5. 時価評価されていない主な有価証券の内容

| | 連結貸借対照表計上額 (百万円) |
|-------------------------------|------------------|
| その他有価証券 | |
| 非上場株式 | 1,102 |
| マネー・マネージメント・ファンド | 1,888 |
| 投資事業有限責任組合およびそれに類する 組合への出資 | 2,674 |

6. その他有価証券のうち満期があるものおよび満期保有目的の債券の今後の償還予定額

| | 1年以内 (百万円) | 1年超5年以内 (百万円) | 5年超10年以内 (百万円) | 10年超 (百万円) |
|-------------|---------------|------------------|-------------------|---------------|
| 1. 債券 | | | | |
| (1) 国債・地方債等 | 536 | 429 | — | — |
| (2) 社債 | 386 | 7,159 | — | — |
| (3) その他 | — | — | — | — |
| 2. その他 | — | — | 2,576 | — |
| 合計 | 923 | 7,588 | 2,576 | — |

当連結会計年度（平成18年3月31日）

1. 売買目的有価証券

| 連結貸借対照表計上額（百万円） | 当連結会計年度の損益に含まれた評価差額（百万円） |
|-----------------|--------------------------|
| 727 | 221 |

2. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

| | 種類 | 連結貸借対照表計上額（百万円） | 時価（百万円） | 差額（百万円） |
|----------------------|-------------|-----------------|---------|---------|
| 時価が連結貸借対照表計上額を超えるもの | (1) 国債・地方債等 | 50 | 50 | 0 |
| | (2) 社債 | 70 | 70 | 0 |
| | (3) その他 | — | — | — |
| | 小計 | 120 | 120 | 0 |
| 時価が連結貸借対照表計上額を超えないもの | (1) 国債・地方債等 | 130 | 128 | △1 |
| | (2) 社債 | 205 | 200 | △5 |
| | (3) その他 | — | — | — |
| | 小計 | 336 | 328 | △7 |
| 合計 | | 456 | 449 | △6 |

3. その他有価証券で時価のあるもの

| | 種類 | 取得原価（百万円） | 連結貸借対照表計上額（百万円） | 差額（百万円） |
|------------------------|----------|-----------|-----------------|---------|
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの | (1) 株式 | 12,445 | 53,511 | 41,065 |
| | (2) 債券 | | | |
| | ①国債・地方債等 | 420 | 457 | 36 |
| | ②社債 | 4,584 | 4,889 | 304 |
| | (3) その他 | 639 | 978 | 339 |
| | 小計 | 18,090 | 59,837 | 41,746 |
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | (1) 株式 | 4 | 3 | △0 |
| | (2) 債券 | | | |
| | ①国債・地方債等 | — | — | — |
| | ②社債 | 5,809 | 5,574 | △235 |
| | (3) その他 | 3,000 | 2,429 | △570 |
| | 小計 | 8,814 | 8,007 | △807 |
| 合計 | | 26,905 | 67,844 | 40,939 |

4. 当連結会計年度中に売却したその他有価証券（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

| 売却額 (百万円) | 売却益の合計額 (百万円) | 売却損の合計額 (百万円) |
|--------------|------------------|------------------|
| 2,579 | 1,244 | 4 |

(注) 上記の売却額には、連結キャッシュ・フロー計算書上の現金および現金同等物の売却額が含まれております。

5. 時価評価されていない主な有価証券の内容

| | 連結貸借対照表計上額 (百万円) |
|-------------------------------|------------------|
| その他有価証券 | |
| 非上場株式 | 1,311 |
| マネー・マネージメント・ファンド | 1,666 |
| 投資事業有限責任組合およびそれに類する 組合への出資 | 2,720 |

6. その他有価証券のうち満期があるものおよび満期保有目的の債券の今後の償還予定額

| | 1年以内 (百万円) | 1年超5年以内 (百万円) | 5年超10年以内 (百万円) | 10年超 (百万円) |
|-------------|---------------|------------------|-------------------|---------------|
| 1. 債券 | | | | |
| (1) 国債・地方債等 | — | 649 | — | — |
| (2) 社債 | 3,066 | 5,889 | 469 | — |
| (3) その他 | 0 | 0 | 0 | — |
| 2. その他 | — | — | 2,429 | — |
| 合計 | 3,067 | 6,539 | 2,899 | — |

(デリバティブ取引関係)

1. 取引の状況に関する事項

| 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|---|---|
| <p>(1) 取引の内容 利用しているデリバティブ取引は、通貨関連では為替予約取引等、金利関連では金利スワップ取引であります。</p> <p>(2) 取引に対する取組方針 デリバティブ取引は、将来の為替の変動および金利の変動によるリスク回避を目的としており、投機的な取引は行なわない方針であります。</p> <p>(3) 取引の利用目的 デリバティブ取引は、通貨関連では外貨建金銭債権予定取引および外貨建債券の償還の為替変動リスクを回避し、安定的な利益の確保を図る目的で利用しております。また、金利関連の取引は、借入金の金利変動リスクを回避する目的で利用しております。なお、デリバティブ取引を利用してヘッジ会計を行っております。</p> <p>ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。</p> <p>ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>a. ヘッジ手段…為替予約 ヘッジ対象…外貨建有価証券</p> <p>b. ヘッジ手段…金利スワップ ヘッジ対象…借入金</p> <p>ヘッジ方針 内部規程である「市場リスク管理規程」および「デリバティブ管理規程」に基づき、為替変動リスクおよび金利変動リスクをヘッジしております。</p> <p>ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象の相場変動またはキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動またはキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額等を基礎にして評価しております。</p> | <p>(1) 取引の内容 同左</p> <p>(2) 取引に対する取組方針 同左</p> <p>(3) 取引の利用目的 同左</p> <p>ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>a. ヘッジ手段…同左 ヘッジ対象…外貨建予定取引 外貨建有価証券</p> <p>b. ヘッジ手段…同左 ヘッジ対象…同左</p> <p>ヘッジ方針 同左</p> <p>ヘッジ有効性評価の方法 同左</p> |

| 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|--|--|
| <p>(4) 取引にかかるリスクの内容 為替予約取引および金利スワップ取引は為替相場および市場金利の変動によるリスクを有しております。なお、デリバティブ取引の契約先はいずれも信用度の高い金融機関であるため、相手方の契約不履行によるリスクはほとんどないと認識しております。</p> <p>(5) 取引にかかるリスク管理体制 デリバティブ取引の執行・管理については、取引権限および取引限度額等を定めた社内管理規程に従い、資金担当者が管理担当役員の承認を得て行なっております。</p> <p>(6) 取引の時価等に関する事項についての補足説明 取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額、または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p> | <p>(4) 取引にかかるリスクの内容 同左</p> <p>(5) 取引にかかるリスク管理体制 同左</p> <p>(6) 取引の時価等に関する事項についての補足説明 同左</p> |

2. 取引の時価等に関する事項

デリバティブ取引の契約額等、時価および評価損益

(1) 通貨関連

| 区分 | 種類 | 前連結会計年度 (平成17年3月31日) | | | | 当連結会計年度 (平成18年3月31日) | | | |
|---------------|--------|----------------------|-------------------------|-------------|---------------|----------------------|-------------------------|-------------|---------------|
| | | 契約額等 (百万円) | 契約額等の うち1年超 (百万円) | 時価 (百万円) | 評価損益 (百万円) | 契約額等 (百万円) | 契約額等の うち1年超 (百万円) | 時価 (百万円) | 評価損益 (百万円) |
| 市場取引 以外の取引 | 為替予約取引 | | | | | | | | |
| | 売建 | | | | | | | | |
| | 米ドル | 1,478 | — | 1,495 | △16 | 465 | — | 471 | △5 |
| | ユーロ | 308 | — | 310 | △2 | 183 | — | 185 | △2 |
| | 合計 | 1,787 | — | 1,805 | △18 | 648 | — | 657 | △8 |

前連結会計年度

- (注) 1. 時価の計算にあたっては、取引先金融機関などから提示された価格等に基づき算定しております。
2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。

当連結会計年度

- (注) 1. 時価の計算にあたっては、取引先金融機関などから提示された価格等に基づき算定しております。
2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社および国内連結子会社は、確定給付型の制度として、厚生年金基金制度および退職一時金制度を設けております。また、従業員の退職等に際して、退職給付債務の計算の対象とされない割増退職金を支払う場合があります。なお、一部の海外子会社でも確定給付型の制度を設けており、また、当社において退職給付信託を設定しております。

2. 退職給付債務およびその内訳

| | 前連結会計年度 (平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (平成18年3月31日) |
|--|-------------------------|-------------------------|
| (1) 退職給付債務 (百万円) | △14,658 | △15,975 |
| (2) 年金資産 (退職給付信託を含む) (百万円) | 11,046 | 14,592 |
| (3) 未積立退職給付債務 (1) + (2) (百万円) | △3,612 | △1,383 |
| (4) 未認識数理計算上の差異 (百万円) | 3,936 | 1,588 |
| (5) 未認識過去勤務債務 (債務の減額) (百万円) | △408 | △372 |
| (6) 連結貸借対照表計上額純額 (3) + (4) + (5) (百万円) | △84 | △167 |
| (7) 前払年金費用 (百万円) | 258 | 220 |
| (8) 退職給付引当金 (6) - (7) (百万円) | △343 | △387 |

前連結会計年度
(平成17年3月31日現在)

- (注) 1. 厚生年金基金の代行部分を含めて記載しております。
2. 一部の子会社は、退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しております。

当連結会計年度
(平成18年3月31日現在)

- (注) 1. 厚生年金基金の代行部分を含めて記載しております。
2. 一部の子会社は、退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しております。

3. 退職給付費用の内訳

| | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 退職給付費用 (百万円) | 926 | 1,052 |
| (1) 勤務費用 (百万円) | 721 (注)1,2 | 774 (注)1,2 |
| (2) 利息費用 (百万円) | 358 | 359 |
| (3) 期待運用収益 (減算) (百万円) | 307 | 357 |
| (4) 数理計算上の差異の費用処理額 (百万円) | 189 | 311 |
| (5) 過去勤務債務の費用処理額 (百万円) | △36 | △36 |

前連結会計年度
(自 平成16年4月1日
至 平成17年3月31日)

- (注) 1. 厚生年金基金に対する従業員拠出額を控除しております。
2. 簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、「(1) 勤務費用」に計上しております。
3. 上記退職給付費用以外に、当社において割増退職金として6百万円を計上しております。

当連結会計年度
(自 平成17年4月1日
至 平成18年3月31日)

- (注) 1. 厚生年金基金に対する従業員拠出額を控除しております。
2. 簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、「(1) 勤務費用」に計上しております。
3. 上記退職給付費用以外に、当社において割増退職金として19百万円を計上しております。

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

| | 前連結会計年度 (平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (平成18年3月31日) |
|--------------------|---|-------------------------|
| (1) 割引率 | 2.5% | 同左 |
| (2) 期待運用収益率 | 4.5% | 同左 |
| (3) 退職給付見込額の期間配分方法 | 期間定額基準 | 同左 |
| (4) 過去勤務債務の額の処理年数 | 15年 (発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により費用処理しております。) | 同左 |
| (5) 数理計算上の差異の処理年数 | 15年 (各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することとしております。) | 同左 |

(税効果会計関係)

| 前連結会計年度 (平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (平成18年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|--------|---------------------|--------|----------------------|----------|--------------------|--------|-----------------|--------|--------|----------|------------|--------|----------|----------|--------|----------|-------------------|----------|---|----------------|-----------|---------------------|--------|----------------------|--------|--------------------|-------|-----------------|----------|-------------|-----------|------------|---|-------|--------|-------|--------|-------------------|----------|--------------------|--------|-------|--------|-----|----------|-------|--|----------|----------|--------|----------|----------|----------|--------------|-------------|-----------|----------|-------|----------|-----|----------|-------|--|----------|-------------|-----------|-------------|
| <p>1. 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>未払事業税</td><td style="text-align: right;">394百万円</td></tr> <tr><td>賞与引当金</td><td style="text-align: right;">876百万円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">1,458百万円</td></tr> <tr><td>役員退職金にかかる引当金および未払金</td><td style="text-align: right;">861百万円</td></tr> <tr><td>繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">418百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">2,231百万円</td></tr> <tr><td colspan="2"><hr/></td></tr> <tr><td>繰延税金資産小計</td><td style="text-align: right;">6,241百万円</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;">△ 422百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;">5,818百万円</td></tr> </table> <p>繰延税金負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>その他有価証券評価差額金</td><td style="text-align: right;">△ 12,290百万円</td></tr> <tr><td>退職給付信託設定益</td><td style="text-align: right;">△ 766百万円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td style="text-align: right;">△ 97百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">△ 278百万円</td></tr> <tr><td colspan="2"><hr/></td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;">△ 13,433百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金資産の純額</td><td style="text-align: right;">△ 7,614百万円</td></tr> </table> | 未払事業税 | 394百万円 | 賞与引当金 | 876百万円 | 退職給付費用 | 1,458百万円 | 役員退職金にかかる引当金および未払金 | 861百万円 | 繰越欠損金 | 418百万円 | その他 | 2,231百万円 | <hr/> | | 繰延税金資産小計 | 6,241百万円 | 評価性引当額 | △ 422百万円 | 繰延税金資産合計 | 5,818百万円 | その他有価証券評価差額金 | △ 12,290百万円 | 退職給付信託設定益 | △ 766百万円 | 減価償却費 | △ 97百万円 | その他 | △ 278百万円 | <hr/> | | 繰延税金負債合計 | △ 13,433百万円 | 繰延税金資産の純額 | △ 7,614百万円 | <p>1. 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>未払事業税</td><td style="text-align: right;">294百万円</td></tr> <tr><td>賞与引当金</td><td style="text-align: right;">847百万円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">1,503百万円</td></tr> <tr><td>役員退職金にかかる引当金および未払金</td><td style="text-align: right;">649百万円</td></tr> <tr><td>繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">644百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">2,520百万円</td></tr> <tr><td colspan="2"><hr/></td></tr> <tr><td>繰延税金資産小計</td><td style="text-align: right;">6,460百万円</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;">△ 162百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;">6,297百万円</td></tr> </table> <p>繰延税金負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>その他有価証券評価差額金</td><td style="text-align: right;">△ 16,938百万円</td></tr> <tr><td>退職給付信託設定益</td><td style="text-align: right;">△ 766百万円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td style="text-align: right;">△ 224百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">△ 292百万円</td></tr> <tr><td colspan="2"><hr/></td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;">△ 18,221百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金資産の純額</td><td style="text-align: right;">△ 11,924百万円</td></tr> </table> | 未払事業税 | 294百万円 | 賞与引当金 | 847百万円 | 退職給付費用 | 1,503百万円 | 役員退職金にかかる引当金および未払金 | 649百万円 | 繰越欠損金 | 644百万円 | その他 | 2,520百万円 | <hr/> | | 繰延税金資産小計 | 6,460百万円 | 評価性引当額 | △ 162百万円 | 繰延税金資産合計 | 6,297百万円 | その他有価証券評価差額金 | △ 16,938百万円 | 退職給付信託設定益 | △ 766百万円 | 減価償却費 | △ 224百万円 | その他 | △ 292百万円 | <hr/> | | 繰延税金負債合計 | △ 18,221百万円 | 繰延税金資産の純額 | △ 11,924百万円 |
| 未払事業税 | 394百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金 | 876百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 1,458百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職金にかかる引当金および未払金 | 861百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越欠損金 | 418百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2,231百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <hr/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産小計 | 6,241百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | △ 422百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | 5,818百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他有価証券評価差額金 | △ 12,290百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付信託設定益 | △ 766百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | △ 97百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | △ 278百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <hr/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金負債合計 | △ 13,433百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産の純額 | △ 7,614百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払事業税 | 294百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金 | 847百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 1,503百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職金にかかる引当金および未払金 | 649百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰越欠損金 | 644百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2,520百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <hr/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産小計 | 6,460百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価性引当額 | △ 162百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | 6,297百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他有価証券評価差額金 | △ 16,938百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付信託設定益 | △ 766百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | △ 224百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | △ 292百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <hr/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金負債合計 | △ 18,221百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産の純額 | △ 11,924百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>法定実効税率 (調整)</td><td style="text-align: right;">40.7%</td></tr> <tr><td>繰延税金資産に対する評価性引当額の増減</td><td style="text-align: right;">0.9%</td></tr> <tr><td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">△ 0.4%</td></tr> <tr><td>交際費等永久に益金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">0.4%</td></tr> <tr><td>試験研究費等の法人税額特別控除</td><td style="text-align: right;">△ 2.0%</td></tr> <tr><td>外国税額控除</td><td style="text-align: right;">△ 0.6%</td></tr> <tr><td>連結子会社の税率差異</td><td style="text-align: right;">△ 3.8%</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">0.4%</td></tr> <tr><td colspan="2"><hr/></td></tr> <tr><td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td style="text-align: right;">35.6%</td></tr> </table> | 法定実効税率 (調整) | 40.7% | 繰延税金資産に対する評価性引当額の増減 | 0.9% | 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | △ 0.4% | 交際費等永久に益金に算入されない項目 | 0.4% | 試験研究費等の法人税額特別控除 | △ 2.0% | 外国税額控除 | △ 0.6% | 連結子会社の税率差異 | △ 3.8% | その他 | 0.4% | <hr/> | | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 35.6% | <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>法定実効税率 (調整)</td><td style="text-align: right;">40.7%</td></tr> <tr><td>繰延税金資産に対する評価性引当額の増減</td><td style="text-align: right;">△ 0.4%</td></tr> <tr><td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">△ 0.4%</td></tr> <tr><td>交際費等永久に益金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">0.2%</td></tr> <tr><td>試験研究費等の法人税額特別控除</td><td style="text-align: right;">△ 2.1%</td></tr> <tr><td>外国税額控除</td><td style="text-align: right;">△ 1.1%</td></tr> <tr><td>連結子会社の税率差異</td><td style="text-align: right;">△ 3.4%</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">1.3%</td></tr> <tr><td colspan="2"><hr/></td></tr> <tr><td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td style="text-align: right;">34.8%</td></tr> </table> | 法定実効税率 (調整) | 40.7% | 繰延税金資産に対する評価性引当額の増減 | △ 0.4% | 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | △ 0.4% | 交際費等永久に益金に算入されない項目 | 0.2% | 試験研究費等の法人税額特別控除 | △ 2.1% | 外国税額控除 | △ 1.1% | 連結子会社の税率差異 | △ 3.4% | その他 | 1.3% | <hr/> | | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 34.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 (調整) | 40.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産に対する評価性引当額の増減 | 0.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | △ 0.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交際費等永久に益金に算入されない項目 | 0.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費等の法人税額特別控除 | △ 2.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国税額控除 | △ 0.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 連結子会社の税率差異 | △ 3.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 0.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <hr/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 35.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 (調整) | 40.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産に対する評価性引当額の増減 | △ 0.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | △ 0.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交際費等永久に益金に算入されない項目 | 0.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費等の法人税額特別控除 | △ 2.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国税額控除 | △ 1.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 連結子会社の税率差異 | △ 3.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 1.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <hr/> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 34.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

| | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | | | |
|---------------------------------|--|---------------------------|---------|------------------|-------------|
| | 光応用製品事業 (百万円) | 産業機械および その他事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去または全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
| I 売上高および営業損益 | | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 115,641 | 3,518 | 119,159 | — | 119,159 |
| (2) セグメント間の内部売上高 または振替高 | 75 | 91 | 166 | (166) | — |
| 計 | 115,716 | 3,609 | 119,326 | (166) | 119,159 |
| 営業費用 | 95,786 | 3,363 | 99,150 | (180) | 98,969 |
| 営業利益 | 19,929 | 246 | 20,175 | 13 | 20,189 |
| II 資産、減価償却費および資本 的支出 | | | | | |
| 資産 | 137,623 | 6,876 | 144,500 | 42,750 | 187,251 |
| 減価償却費 | 3,006 | 8 | 3,014 | — | 3,014 |
| 資本的支出 | 12,827 | 10 | 12,837 | — | 12,837 |

| | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | | | |
|---------------------------------|--|---------------------------|---------|------------------|-------------|
| | 光応用製品事業 (百万円) | 産業機械および その他事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去または全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
| I 売上高および営業損益 | | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 125,306 | 3,977 | 129,284 | — | 129,284 |
| (2) セグメント間の内部売上高 または振替高 | 83 | 106 | 189 | (189) | — |
| 計 | 125,389 | 4,084 | 129,474 | (189) | 129,284 |
| 営業費用 | 107,177 | 3,795 | 110,972 | (189) | 110,783 |
| 営業利益 | 18,212 | 289 | 18,501 | (0) | 18,501 |
| II 資産、減価償却費および資本 的支出 | | | | | |
| 資産 | 159,874 | 6,561 | 166,436 | 46,590 | 213,027 |
| 減価償却費 | 4,735 | 28 | 4,763 | — | 4,763 |
| 資本的支出 | 6,781 | 29 | 6,810 | — | 6,810 |

(注) 1. 事業区分の方法

- (1) 事業は、製品の市場における使用目的に応じて、光応用製品事業、産業機械およびその他事業に区分しております。
- (2) 各事業区分の主要製品
 光応用製品事業……………ハロゲンランプ、クセノンランプ、超高圧UVランプ、映画館用映写機および関連装置、紫外線硬化装置、各種露光装置、エキシマランプおよび関連装置
 産業機械およびその他事業……射出成形機、食品包装機械、自動制御等

2. 前連結会計年度における資産のうち消去または全社の項目に含めた全社資産の金額は46,152百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金（現金および有価証券）および長期投資資金（投資有価証券）等であります。

当連結会計年度における資産のうち消去または全社の項目に含めた全社資産の金額は52,957百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金（現金および有価証券）および長期投資資金（投資有価証券）等であります。

3. 減価償却費および資本的支出には、長期前払費用の償却額および増加額が含まれております。

【所在地別セグメント情報】

| | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|----------------|--------------|------------|----------------------|-------------|
| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | ヨーロッパ (百万円) | アジア (百万円) | 計 (百万円) | 消去または 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
| I 売上高および営業損益 | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 63,857 | 27,275 | 5,446 | 22,581 | 119,159 | — | 119,159 |
| (2) セグメント間の内部売上高または振替高 | 17,591 | 796 | 669 | 4,104 | 23,161 | (23,161) | — |
| 計 | 81,449 | 28,071 | 6,115 | 26,685 | 142,321 | (23,161) | 119,159 |
| 営業費用 | 65,130 | 28,189 | 5,791 | 22,882 | 121,993 | (23,023) | 98,969 |
| 営業利益 | 16,319 | △118 | 324 | 3,802 | 20,328 | (138) | 20,189 |
| II 資産 | 113,051 | 22,652 | 10,726 | 17,384 | 163,813 | 23,438 | 187,251 |

| | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|----------------|--------------|------------|----------------------|-------------|
| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | ヨーロッパ (百万円) | アジア (百万円) | 計 (百万円) | 消去または 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
| I 売上高および営業損益 | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 60,338 | 38,623 | 5,617 | 24,705 | 129,284 | — | 129,284 |
| (2) セグメント間の内部売上高または振替高 | 17,934 | 780 | 666 | 5,241 | 24,622 | (24,622) | — |
| 計 | 78,272 | 39,403 | 6,283 | 29,946 | 153,907 | (24,622) | 129,284 |
| 営業費用 | 65,490 | 37,811 | 6,002 | 25,868 | 135,172 | (24,389) | 110,783 |
| 営業利益 | 12,782 | 1,592 | 281 | 4,078 | 18,734 | (233) | 18,501 |
| II 資産 | 125,172 | 28,933 | 12,252 | 21,922 | 188,280 | 24,746 | 213,027 |

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国または地域
- (1) 北米……………アメリカ、カナダ
 - (2) ヨーロッパ……オランダ、ドイツ、イギリス、フランス
 - (3) アジア……………中国、台湾、韓国、フィリピン、シンガポール
3. 前連結会計年度における資産のうち消去または全社の項目に含めた全社資産の金額は46,152百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金（現金および有価証券）および長期投資資金（投資有価証券）等であり、
- 当連結会計年度における資産のうち消去または全社の項目に含めた全社資産の金額は52,957百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金（現金および有価証券）および長期投資資金（投資有価証券）等であり、

【海外売上高】

| | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|--------|--------|
| | 北米 | ヨーロッパ | アジア | その他の地域 | 計 |
| I 海外売上高（百万円） | 20,634 | 8,420 | 31,859 | 1,260 | 62,176 |
| II 連結売上高（百万円） | 119,159 | | | | |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 17.3 | 7.1 | 26.7 | 1.1 | 52.2 |

| | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | | | |
|--------------------------|--|--------|--------|--------|--------|
| | 北米 | ヨーロッパ | アジア | その他の地域 | 計 |
| I 海外売上高（百万円） | 29,874 | 10,295 | 31,860 | 656 | 72,688 |
| II 連結売上高（百万円） | 129,284 | | | | |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 23.1 | 8.0 | 24.6 | 0.5 | 56.2 |

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国または地域
- (1) 北米……………アメリカ、カナダ
 - (2) ヨーロッパ……………オランダ、ドイツ、イギリス、フランス
 - (3) アジア……………中国、台湾、韓国、フィリピン、シンガポール
 - (4) その他の地域……………アルゼンチン、ブラジル
3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

【関連当事者との取引】

前連結会計年度（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

(1) 役員および個人主要株主等

| 属性 | 氏名 | 住所 | 資本金 または 出資金 (百万円) | 事業の内容 または 職業 | 議決権等 の被所有 割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|---------------|------|----|----------------------------|---|--------------------|------------|------------|---------------|---------------|----|---------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上 の関係 | | | | |
| 役員 | 牛尾治朗 | - | - | 当社代表取締役会長 財団法人ウシオ育英文化財団理事長 | 直接 2.34% | - | - | 拠出金 | 10 | - | - |
| | | | | 当社代表取締役会長 技術研究組合極端紫外線露光システム技術開発機構理事長（注2） | 直接 2.34% | - | - | 拠出金 | 10 | - | - |
| | | | | | | | | 製品の販売 （注1） | 23 | - | - |
| 設備の賃貸 （注1） | 10 | - | - | | | | | | | | |
| 役員 | 服部秀一 | - | - | 当社監査役 弁護士 | 直接 0.0% | - | - | 弁護士報酬 （注3） | 5 | - | - |

- (注) 1. 製品の販売および設備の賃貸については、一般の取引条件と同様に決定しております。
 2. 技術研究組合極端紫外線露光システム技術開発機構との取引は、いわゆる第三者のための取引であります。
 3. 弁護士報酬については、日本弁護士連合会作成の「弁護士の報酬に関する規程」に基づき作成された基準によっております。
 4. 取引金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 子会社等

| 属性 | 会社等の 名称 | 住所 | 資本金 または 出資金 (百万円) | 事業の内容 または 職業 | 議決権等 の所有割 合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|------|-------------|-------------|----------------------------|--------------------|-------------------|-------------------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上 の関係 | | | | |
| 関連会社 | ギガフォ トン㈱ | 東京都 千代田区 | 5,000 | 光応用製品 事業 | 直接 50.0% | 兼任3名 （うち当社 従業員1名） | 当社製品 および商 品の販売 | 資金の貸付 （注1） | 100 | 短期 貸付 金 | 1,600 |
| | | | | | | | | | - | 長期 貸付 金 | 200 |

- (注) 1. 資金の貸付については、市場金利を勘案して合理的に決定しており、返済条件は期間5年としております。
 なお、担保は徴求しておりません。
 2. 取引金額には消費税等は含まれておりません。

当連結会計年度（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

(1) 役員および個人主要株主等

| 属性 | 氏名 | 住所 | 資本金 または 出資金 (百万円) | 事業の内容 または 職業 | 議決権等 の被所有 割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|---------------|------|----|----------------------------|---|--------------------|------------|------------|---------------|---------------|----|---------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上 の関係 | | | | |
| 役員 | 牛尾治朗 | - | - | 当社代表取締役会長 財団法人ウシオ育英文化財団理事長 | 直接 2.32% | - | - | 拠出金 | 10 | - | - |
| | | | | 当社代表取締役会長 技術研究組合極端紫外線露光システム技術開発機構理事長（注2） | 直接 2.32% | - | - | 拠出金 | 11 | - | - |
| | | | | | | | | 製品の販売 （注1） | 125 | - | - |
| 設備の賃貸 （注1） | 4 | - | - | | | | | | | | |
| 役員 | 服部秀一 | - | - | 当社監査役 弁護士 | 直接 0.0% | - | - | 弁護士報酬 （注3） | 6 | - | - |

- (注) 1. 製品の販売および設備の賃貸については、一般の取引条件と同様に決定しております。
 2. 財団法人ウシオ育英文化財団および技術研究組合極端紫外線露光システム技術開発機構との取引は、いわゆる第三者のための取引であります。
 3. 弁護士報酬については、日本弁護士連合会作成の「弁護士の報酬に関する規程」に基づき作成された基準によっております。
 4. 取引金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 子会社等

| 属性 | 会社等 の名称 | 住所 | 資本金 または 出資金 (百万円) | 事業の内容 または 職業 | 議決権等 の所有割 合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|------|-------------|-------------|----------------------------|--------------------|-------------------|-------------------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上 の関係 | | | | |
| 関連会社 | ギガフォ トン㈱ | 東京都 千代田区 | 5,000 | 光応用製品 事業 | 直接 50.0% | 兼任3名 （うち当社 従業員1名） | 当社製品 および商 品の販売 | 資金の貸付 （注1） | 2,550 | 短期 貸付 金 | 1,050 |
| | | | | | | | | | 400 | 長期 貸付 金 | 400 |

- (注) 1. 資金の貸付については、市場金利を勘案して合理的に決定しており、返済条件は期間5年としております。
 なお、担保は徴求しておりません。
 2. 取引金額には消費税等は含まれておりません。

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 | | 当連結会計年度 | |
|--|---------|--|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 935円80銭 | 1株当たり純資産額 | 1,089円67銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 98円89銭 | 1株当たり当期純利益 | 107円81銭 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | | なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | |

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 当期純利益(百万円) | 13,634 | 14,895 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(百万円) | 13,634 | 14,895 |
| 期中平均株式数(千株) | 137,867 | 138,156 |

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、平成18年6月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議し、その決議に基づき、自己株式の取得を行いました。

- | | |
|-------------|---------------------|
| (1) 取得の理由 | 機動的な資本政策の遂行を可能にするため |
| (2) 取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |
| (3) 取得した株式数 | 456,000株 |
| (4) 取得価額の総額 | 1,058百万円 |
| (5) 取得日 | 平成18年6月12日～21日 |

⑤【連結附属明細表】

【社債明細表】

該当事項はありません。

【借入金等明細表】

| 区分 | 前期末残高 (百万円) | 当期末残高 (百万円) | 平均利率 (%) | 返済期限 |
|-------------------------|----------------|----------------|-------------|-------|
| 短期借入金 | 9,783 | 10,333 | 4.9 | — |
| 1年以内に返済予定の長期借入金 | 466 | 102 | 1.1 | — |
| 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。) | 2,832 | 3,090 | 0.9 | 平成19年 |
| その他の有利子負債 | — | — | — | — |
| 合計 | 13,081 | 13,525 | — | — |

(注) 1. 平均利率については、当期末借入金残高に対する加重平均利率を記載しております。

2. 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。)の連結決算日後5年間の返済予定額は次のとおりであります。

| | 1年超2年以内 (百万円) | 2年超3年以内 (百万円) | 3年超4年以内 (百万円) | 4年超5年以内 (百万円) |
|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 長期借入金 | 3,090 | — | — | — |

(2) 【その他】

該当事項はありません。

2【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

①【貸借対照表】

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (平成17年3月31日) | | 当事業年度 (平成18年3月31日) | |
|---------------|----------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|
| | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| (資産の部) | | | | | |
| I 流動資産 | | | | | |
| 1. 現金および預金 | | | 11,723 | | 8,870 |
| 2. 受取手形 | ※4,7 | | 3,604 | | 4,061 |
| 3. 売掛金 | ※4 | | 22,212 | | 22,553 |
| 4. 有価証券 | | | 2,746 | | 5,237 |
| 5. 製品および商品 | | | 2,446 | | 2,032 |
| 6. 原材料 | | | 1,631 | | 1,451 |
| 7. 仕掛品 | | | 2,975 | | 4,706 |
| 8. 前払費用 | | | 243 | | 257 |
| 9. 繰延税金資産 | | | 1,253 | | 1,046 |
| 10. 関係会社短期貸付金 | | | 1,660 | | 1,050 |
| 11. 特定金銭信託 | | | 2,520 | | 2,674 |
| 12. その他 | | | 649 | | 1,549 |
| 13. 貸倒引当金 | | | △14 | | △14 |
| 流動資産合計 | | | 53,653 | 35.5 | 55,477 |
| II 固定資産 | | | | | |
| (1) 有形固定資産 | | | | | |
| 1. 建物 | ※1 | 13,860 | | 16,875 | |
| 減価償却累計額 | | 6,850 | 7,010 | 7,386 | 9,489 |
| 2. 構築物 | | 889 | | 989 | |
| 減価償却累計額 | | 510 | 379 | 514 | 474 |
| 3. 機械および装置 | ※1 | 10,955 | | 12,671 | |
| 減価償却累計額 | | 8,230 | 2,725 | 8,772 | 3,899 |
| 4. 車両および運搬具 | | 37 | | 48 | |
| 減価償却累計額 | | 33 | 3 | 37 | 11 |
| 5. 工具器具および備品 | ※1 | 4,635 | | 5,272 | |
| 減価償却累計額 | | 3,298 | 1,336 | 3,791 | 1,480 |
| 6. 土地 | | | 4,708 | | 4,919 |

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (平成17年3月31日) | | 当事業年度 (平成18年3月31日) | |
|----------------------|----------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|
| | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| 7. 建設仮勘定 | | | 2,638 | | 511 |
| 有形固定資産合計 | | | 18,801 | 12.5 | 20,785 |
| (2) 無形固定資産 | | | | | |
| 1. 特許権 | | | 470 | | 369 |
| 2. 借地権 | | | 39 | | 39 |
| 3. ソフトウェア | | | 1,019 | | 1,771 |
| 4. ソフトウェア仮勘定 | | | 1,071 | | 13 |
| 5. その他 | | | 24 | | 19 |
| 無形固定資産合計 | | | 2,626 | 1.7 | 2,214 |
| (3) 投資その他の資産 | | | | | |
| 1. 投資有価証券 | | | 54,954 | | 67,257 |
| 2. 関係会社株式 | | | 12,361 | | 12,361 |
| 3. その他の関係会社 有価証券 | | | 758 | | 820 |
| 4. 関係会社出資金 | | | 4,162 | | 4,735 |
| 5. 長期貸付金 | | | 0 | | — |
| 6. 関係会社長期貸付金 | | | 2,573 | | 2,389 |
| 7. 長期前払費用 | | | 73 | | 56 |
| 8. 前払年金費用 | | | 258 | | 220 |
| 9. 差入保証金 | | | 697 | | 695 |
| 10. 会員権等 | | | 488 | | 468 |
| 11. その他 | ※5 | | 57 | | 55 |
| 12. 貸倒引当金 | | | △405 | | △389 |
| 投資その他の資産合計 | | | 75,981 | 50.3 | 88,671 |
| 固定資産合計 | | | 97,409 | 64.5 | 111,671 |
| 資産合計 | | | 151,063 | 100.0 | 167,149 |
| (負債の部) | | | | | |
| I 流動負債 | | | | | |
| 1. 支払手形 | | | 46 | | — |
| 2. 買掛金 | ※4 | | 10,502 | | 9,797 |
| 3. 1年以内返済予定長期 借入金 | | | 360 | | — |
| 4. 未払金 | | | 3,058 | | 2,121 |

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (平成17年3月31日) | | 当事業年度 (平成18年3月31日) | | |
|---------------------|----------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|-------|
| | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | |
| 5. 未払費用 | | | 301 | | 311 | |
| 6. 未払法人税等 | | | 3,939 | | 3,108 | |
| 7. 前受金 | | | 70 | | 520 | |
| 8. 預り金 | | | 60 | | 75 | |
| 9. 前受収益 | | | 1 | | 0 | |
| 10. 賞与引当金 | | | 1,732 | | 1,595 | |
| 11. その他 | | | 20 | | 16 | |
| 流動負債合計 | | | 20,094 | 13.3 | 17,547 | 10.5 |
| II 固定負債 | | | | | | |
| 1. 長期借入金 | | | 2,480 | | 2,840 | |
| 2. 繰延税金負債 | | | 10,517 | | 15,078 | |
| 3. 退職給付引当金 | | | 105 | | 144 | |
| 4. 役員退職給与引当金 | | | 816 | | — | |
| 5. 長期未払金 | | | 557 | | 1,377 | |
| 6. その他 | | | 31 | | 31 | |
| 固定負債合計 | | | 14,508 | 9.6 | 19,471 | 11.6 |
| 負債合計 | | | 34,603 | 22.9 | 37,019 | 22.1 |
| (資本の部) | | | | | | |
| I 資本金 | ※2 | | 19,556 | 13.0 | 19,556 | 11.7 |
| II 資本剰余金 | | | | | | |
| 1. 資本準備金 | | 28,248 | | 28,248 | | |
| 資本剰余金合計 | | | 28,248 | 18.7 | 28,248 | 16.9 |
| III 利益剰余金 | | | | | | |
| 1. 利益準備金 | | 2,638 | | 2,638 | | |
| 2. 任意積立金 | | | | | | |
| (1) 配当積立金 | | 30 | | 30 | | |
| (2) 別途積立金 | | 15,950 | | 17,650 | | |
| 3. 当期末処分利益 | | 33,999 | | 39,336 | | |
| 利益剰余金合計 | | | 52,617 | 34.8 | 59,654 | 35.7 |
| IV その他有価証券評価差額 金 | | | 17,872 | 11.8 | 24,567 | 14.7 |
| V 自己株式 | ※3 | | △1,834 | △1.2 | △1,895 | △1.1 |
| 資本合計 | | | 116,460 | 77.1 | 130,130 | 77.9 |
| 負債・資本合計 | | | 151,063 | 100.0 | 167,149 | 100.0 |

②【損益計算書】

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | | 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | |
|----------------------|----------|--|--------|------------|--|--------|------------|
| | | 金額 (百万円) | | 百分比 (%) | 金額 (百万円) | | 百分比 (%) |
| I 売上高 | ※6 | 65,058 | 65,058 | 100.0 | 61,747 | 61,747 | 100.0 |
| II 売上原価 | | | | | | | |
| 1. 期首製品および商品た な卸高 | | 1,697 | | | 2,446 | | |
| 2. 当期製品製造原価 | | 38,969 | | | 38,721 | | |
| 3. 当期商品仕入高 | | 2,889 | | | 1,800 | | |
| 合計 | | 43,556 | | | 42,968 | | |
| 4. 期末製品および商品た な卸高 | | 2,446 | | | 2,032 | | |
| 5. 他勘定振替高 | ※1 | 285 | | | 219 | | |
| 売上原価合計 | | | 40,824 | 62.8 | | 40,716 | 65.9 |
| 売上総利益 | | | 24,233 | 37.2 | | 21,030 | 34.1 |
| III 販売費および一般管理費 | | | | | | | |
| 1. 給与賃金および手当 | | 1,979 | | | 2,077 | | |
| 2. 賞与引当金繰入額 | | 328 | | | 306 | | |
| 3. 退職給付費用 | | 235 | | | 270 | | |
| 4. 役員退職給与引当金繰 入額 | | 109 | | | 8 | | |
| 5. 支払手数料 | | 803 | | | 764 | | |
| 6. 租税公課 | | 332 | | | 325 | | |
| 7. 減価償却費 | | 307 | | | 386 | | |
| 8. 賃借料 | | 455 | | | 439 | | |
| 9. 研究開発費 | ※7 | 2,593 | | | 2,786 | | |
| 10. 貸倒引当金繰入額 | | 12 | | | 0 | | |
| 11. その他 | | 2,761 | 9,920 | 15.2 | 2,772 | 10,138 | 16.5 |
| 営業利益 | | | 14,313 | 22.0 | | 10,891 | 17.6 |

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | |
|--------------------|----------|--|------------|--|------------|
| | | 金額 (百万円) | 百分比 (%) | 金額 (百万円) | 百分比 (%) |
| IV 営業外収益 | | | | | |
| 1. 受取利息 | | 88 | | 108 | |
| 2. 有価証券利息 | | 393 | | 345 | |
| 3. 受取配当金 | ※6 | 1,018 | | 1,834 | |
| 4. 売買目的有価証券運用 益 | | 34 | | 255 | |
| 5. 為替差益 | | 605 | | 317 | |
| 6. 投資有価証券売却益 | | 455 | | 1,244 | |
| 7. 投資事業組合運用益 | | — | | 1,069 | |
| 8. 貸倒引当金戻入額 | | 5 | | — | |
| 9. 雑収入 | | 466 | 3,066 | 542 | 5,719 |
| | | | 4.7 | | 9.3 |
| V 営業外費用 | | | | | |
| 1. 支払利息 | | 21 | | 27 | |
| 2. たな卸資産除却損 | | 55 | | 88 | |
| 3. 投資有価証券売却損 | | 23 | | 4 | |
| 4. 雑損失 | | 51 | 151 | 122 | 243 |
| | | | 0.2 | | 0.4 |
| 経常利益 | | | 17,228 | | 16,368 |
| | | | 26.5 | | 26.5 |
| VI 特別利益 | | | | | |
| 1. 固定資産売却益 | ※2 | 35 | 35 | 1 | 1 |
| | | | 0.1 | | 0.0 |
| VII 特別損失 | | | | | |
| 1. 固定資産売却損 | ※3 | 0 | | 1 | |
| 2. 固定資産除却損 | ※4 | 262 | | 79 | |
| 3. 減損損失 | ※5 | 122 | | — | |
| 4. 関係会社株式評価損 | | 556 | 941 | — | 80 |
| | | | 1.5 | | 0.1 |
| 税引前当期純利益 | | | 16,322 | | 16,288 |
| | | | 25.1 | | 26.4 |

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | |
|-------------------|----------|--|------------|--|------------|
| | | 金額 (百万円) | 百分比 (%) | 金額 (百万円) | 百分比 (%) |
| 法人税、住民税および 事業税 | | 6,364 | | 6,314 | |
| 法人税等調整額 | | △298 | 6,065 | 174 | 6,488 |
| 当期純利益 | | | 10,256 | | 9,800 |
| 前期繰越利益 | | | 23,742 | | 29,535 |
| 当期末処分利益 | | | 33,999 | | 39,336 |

製造原価明細書

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | | 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | |
|-----------|----------|--|------------|--|------------|
| | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| I 材料費 | | 20,867 | 52.6 | 20,390 | 50.4 |
| II 労務費 | ※1 | 8,822 | 22.2 | 9,243 | 22.8 |
| III 経費 | ※2 | 10,025 | 25.2 | 10,832 | 26.8 |
| 当期総製造費用 | | | 39,715 | | 40,466 |
| 期首仕掛品たな卸高 | | | 2,248 | | 2,975 |
| 合計 | | | 41,963 | | 43,442 |
| 期末仕掛品たな卸高 | | | 2,975 | | 4,706 |
| 他勘定振替高 | ※3 | | 19 | | 13 |
| 当期製品製造原価 | | | 38,969 | | 38,721 |

(注) 原価計算の方法は、主として総合原価計算を採用しており、光学装置関連製品の一部は個別原価計算によっております。

(脚注)

| 前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|--|--|
| ※1. 労務費のうち主なものは、給与賃金4,285百万円、諸手当3,117百万円であります。 | ※1. 労務費のうち主なものは、給与賃金4,697百万円、諸手当3,059百万円であります。 |
| ※2. 経費のうち主なものは、外注加工費5,644百万円、減価償却費1,158百万円であります。 | ※2. 経費のうち主なものは、外注加工費4,907百万円、減価償却費2,139百万円であります。 |
| ※3. 他勘定振替高の主なものは、建設仮勘定への振替16百万円であります。 | ※3. 他勘定振替高の主なものは、たな卸資産除却損への振替12百万円であります。 |

③【利益処分計算書】

| | | 前事業年度 (平成17年6月29日) 定時株主総会決議 | | 当事業年度 (平成18年6月29日) 定時株主総会決議 | |
|-------------------|----------|-----------------------------------|--------|-----------------------------------|--------|
| 区分 | 注記 番号 | 金額 (百万円) | | 金額 (百万円) | |
| I 当期末処分利益 | | | 33,999 | | 39,336 |
| II 利益処分額 | | | | | |
| 1. 配当金 | | 2,763 | | 2,762 | |
| 2. 任意積立金 別途積立金 | | 1,700 | 4,463 | 1,700 | 4,462 |
| III 次期繰越利益 | | | 29,535 | | 34,873 |
| | | | | | |

(注) 当社は役員報酬の体系を見直した結果、前事業年度より利益処分による役員賞与金(監査役賞与金も含む)の支給は行わないこととしております。

重要な会計方針

| 項目 | 前事業年度 (自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日) |
|------------------------|--|--|
| 1. 有価証券の評価基準および評価方法 | (1) 売買目的有価証券 時価法（売却原価は移動平均法により算定） (2) 子会社株式および関連会社株式 移動平均法による原価法 (3) その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等（株式については決算日前1ヶ月の市場価格の平均）に基づく時価法 （評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法 (4) 投資事業有限責任組合およびそれに類する組合への出資（証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの） 組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書類を基礎とし、持分相当額を取り込む方法によっております。 | (1) 売買目的有価証券 同左 (2) 子会社株式および関連会社株式 同左 (3) その他有価証券 時価のあるもの 同左 時価のないもの 同左 (4) 投資事業有限責任組合およびそれに類する組合への出資（証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの） 同左 |
| 2. デリバティブ等の評価基準および評価方法 | (1) デリバティブ 時価法 (2) 運用目的の金銭の信託 時価法 | (1) デリバティブ 同左 (2) 運用目的の金銭の信託 同左 |
| 3. たな卸資産の評価基準および評価方法 | 製品および商品・仕掛品 ：総平均法による原価法 原材料 ：移動平均法による原価法 | 製品および商品・仕掛品 同左 原材料 同左 |
| 4. 固定資産の減価償却の方法 | (1) 有形固定資産 定率法 ただし、平成10年 4月 1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物 8～50年 構築物 7～40年 機械および装置 3～8年 車両および運搬具 4～6年 工具器具および備品 2～15年 (2) 無形固定資産 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込み利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。 | (1) 有形固定資産 同左 (2) 無形固定資産 同左 |

| 項目 | 前事業年度 (自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日) |
|-------------|---|--|
| 5. 引当金の計上基準 | <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。 当事業年度については、厚生年金基金制度における年金資産見込額が退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異および未認識過去勤務債務を加減した額を超過しているため、超過額を前払年金費用に計上しております。 過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（15年）による定額法により費用処理しております。 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（15年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 役員退職給与引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上しております。</p> | <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p> <p>(3) 退職給付引当金 同左</p> <p>(4) 役員退職給与引当金 取締役および監査役の退職慰労金制度については、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職給与引当金として計上していましたが、平成17年6月29日開催の定時株主総会終結の時をもって廃止しました。これに伴い、これまでの在任期間に応じた退職慰労金の打ち切り支給を同株主総会にて決議しました。なお、在任期間に応じた役員退職慰労金の支給決議額816百万円については、固定負債の「長期未払金」に含めて表示しております。</p> |

| 項目 | 前事業年度 (自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 6. リース取引の処理方法 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。 | 同左 |
| 7. ヘッジ会計の方法 | <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段…為替予約 ヘッジ対象…外貨建有価証券</p> <p>(3) ヘッジ方針 当社の内部規程である「市場リスク管理規程」および「デリバティブ管理規程」に基づき、為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象の相場変動またはキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動またはキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額等を基礎にして評価しております。</p> | <p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段…為替予約 ヘッジ対象…外貨建予定取引 外貨建有価証券</p> <p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 同左</p> |
| 8. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 消費税等の会計処理 税抜方式を採用しております。 | 消費税等の会計処理 同左 |

会計処理方法の変更

| 前事業年度 (自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日) |
|---|---|
| <p>(固定資産の減損に係る会計基準)</p> <p>固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年 8月 9日））および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 6号 平成15年10月 31日）が平成16年 3月31日に終了する事業年度に係る財務諸表から適用できることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準および同適用指針を適用しております。</p> <p>これにより税引前当期純利益は122百万円減少しております。</p> | — |

表示方法の変更

| <p style="text-align: center;">前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)</p> | <p style="text-align: center;">当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)</p> |
|--|--|
| <p>(貸借対照表)</p> <p>「証券取引法等の一部を改正する法律」(平成16年法律第97号)が平成16年6月9日に公布され、平成16年12月1日より適用となることおよび「金融商品会計に関する実務指針」(会計制度委員会報告第14号)が平成17年2月15日付で改正されたことに伴い、当事業年度から投資事業有限責任組合およびそれに類する組合への出資(証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)を「投資有価証券」および「その他の関係会社有価証券」として表示する方法に変更いたしました。</p> <p>なお、当事業年度の「投資有価証券」に含まれる当該出資の額は2,674百万円、「その他の関係会社有価証券」に含まれる当該出資の額は758百万円であり、前事業年度における投資その他の資産「出資金」に含まれている当該出資の額は2,906百万円であります。</p> <p>(損益計算書)</p> <p>「投資有価証券売却損」は、前事業年度まで営業外費用の「雑損失」に含めて表示しておりましたが、当事業年度より区分掲記しております。</p> <p>なお、前事業年度の「投資有価証券売却損」は33百万円であります。</p> | <p style="text-align: center;">—————</p> <p>(損益計算書)</p> <p>「投資事業組合運用益」は、前事業年度まで営業外収益の「雑収入」に含めて表示しておりましたが、当事業年度より区分掲記しております。</p> <p>なお、前事業年度の「投資事業組合運用益」は119百万円であります。</p> |

(損益計算書関係)

| 前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------|----------------|-------|-------------|-------|----|----|----|---------|------|----|---------|------|----|-----|-----------|-------|--------|--|----------|-------|----------------|-------|-------------|-------|-----|-----------|-------|----------|
| <p>※1. 他勘定振替高の主なものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建設仮勘定へ振替</td> <td style="text-align: right;">179百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">販売費および一般管理費へ振替</td> <td style="text-align: right;">52百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">たな卸資産除却損へ振替</td> <td style="text-align: right;">49百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 土地の売却益34百万円ほかであります。</p> <p>※3. 機械および装置の売却損0百万円であります。</p> <p>※4. 建物の除却損173百万円、工具器具および備品の除却損43百万円ほかであります。</p> <p>※5. 減損損失 当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神奈川県横浜市</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> </tr> <tr> <td>静岡県御殿場市</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、固定資産を継続的に損益の把握を実施している単位および遊休資産にグルーピングしております。</p> <p>地価の下落により、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(122百万円)として特別損失に計上しました。</p> <p>なお、当該資産グループの回収可能価額は主に不動産鑑定評価額に基づく正味売却価額により測定しております。</p> <p>※6. 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">売上高</td> <td style="text-align: right;">16,861百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受取配当金</td> <td style="text-align: right;">620百万円</td> </tr> </table> <p>※7. 研究開発費の総額は、2,593百万円であります。</p> | 建設仮勘定へ振替 | 179百万円 | 販売費および一般管理費へ振替 | 52百万円 | たな卸資産除却損へ振替 | 49百万円 | 場所 | 用途 | 種類 | 神奈川県横浜市 | 遊休資産 | 土地 | 静岡県御殿場市 | 遊休資産 | 土地 | 売上高 | 16,861百万円 | 受取配当金 | 620百万円 | <p>※1. 他勘定振替高の主なものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建設仮勘定へ振替</td> <td style="text-align: right;">53百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">販売費および一般管理費へ振替</td> <td style="text-align: right;">92百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">たな卸資産除却損へ振替</td> <td style="text-align: right;">52百万円</td> </tr> </table> <p>※2. 土地の売却益0百万円ほかであります。</p> <p>※3. 機械および装置の売却損1百万円ほかであります。</p> <p>※4. 建物の除却損27百万円、構築物の除却損24百万円ほかであります。</p> <p>※5. _____</p> <p>※6. 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">売上高</td> <td style="text-align: right;">17,402百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受取配当金</td> <td style="text-align: right;">1,344百万円</td> </tr> </table> <p>※7. 研究開発費の総額は、2,786百万円であります。</p> | 建設仮勘定へ振替 | 53百万円 | 販売費および一般管理費へ振替 | 92百万円 | たな卸資産除却損へ振替 | 52百万円 | 売上高 | 17,402百万円 | 受取配当金 | 1,344百万円 |
| 建設仮勘定へ振替 | 179百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 販売費および一般管理費へ振替 | 52百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産除却損へ振替 | 49百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 場所 | 用途 | 種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神奈川県横浜市 | 遊休資産 | 土地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 静岡県御殿場市 | 遊休資産 | 土地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 売上高 | 16,861百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受取配当金 | 620百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建設仮勘定へ振替 | 53百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 販売費および一般管理費へ振替 | 92百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| たな卸資産除却損へ振替 | 52百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 売上高 | 17,402百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受取配当金 | 1,344百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(リース取引関係)

| 前事業年度 (自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日) | | | | | 当事業年度 (自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|--------------------|-----------------------------|-------------|---|-------------------|--------------------|-----------------------------|-------------|-------|--------|-------|----------|-------|---|--|--|--|--|------|-------|-----|-------|----|-------|--------|-------|----------|-------|
| リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引に係る注記 | | | | | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引に係る注記 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額 | | | | | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 車両および運搬具 (百万円) | 工具器具および備品 (百万円) | 無形固定資産 (ソフトウェア) (百万円) | 合計 (百万円) | | 車両および運搬具 (百万円) | 工具器具および備品 (百万円) | 無形固定資産 (ソフトウェア) (百万円) | 合計 (百万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取得価額相当額 | 16 | 179 | 21 | 217 | 取得価額相当額 | 15 | 145 | 19 | 180 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却累計額相当額 | 9 | 118 | 8 | 137 | 減価償却累計額相当額 | 2 | 116 | 11 | 131 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 期末残高相当額 | 6 | 61 | 12 | 80 | 期末残高相当額 | 12 | 28 | 7 | 49 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(注) 取得価額相当額は、有形固定資産の期末残高等に占める未経過リース料期末残高の割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。</p> <p>2. 未経過リース料期末残高相当額</p> <table> <tr> <td>1年以内</td> <td>41百万円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>39百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>80百万円</td> </tr> </table> <p>(注) 未経過リース料期末残高相当額は、有形固定資産の期末残高等に占める未経過リース料期末残高の割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。</p> <p>3. 支払リース料および減価償却費相当額</p> <table> <tr> <td>支払リース料</td> <td>58百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>58百万円</td> </tr> </table> <p>4. 減価償却費相当額の算定方法</p> <p>リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> | | | | | 1年以内 | 41百万円 | 1年超 | 39百万円 | 合計 | 80百万円 | 支払リース料 | 58百万円 | 減価償却費相当額 | 58百万円 | <p>同左</p> <p>2. 未経過リース料期末残高相当額</p> <table> <tr> <td>1年以内</td> <td>29百万円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>19百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49百万円</td> </tr> </table> <p>同左</p> <p>3. 支払リース料および減価償却費相当額</p> <table> <tr> <td>支払リース料</td> <td>42百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td>42百万円</td> </tr> </table> <p>4. 減価償却費相当額の算定方法</p> <p>同左</p> | | | | | 1年以内 | 29百万円 | 1年超 | 19百万円 | 合計 | 49百万円 | 支払リース料 | 42百万円 | 減価償却費相当額 | 42百万円 |
| 1年以内 | 41百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年超 | 39百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 80百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支払リース料 | 58百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費相当額 | 58百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年以内 | 29百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年超 | 19百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 49百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支払リース料 | 42百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費相当額 | 42百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(有価証券関係)

前事業年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)および当事業年度(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)における子会社株式および関連会社株式で時価のあるものはありません。

(税効果会計関係)

| 前事業年度 (平成17年3月31日) | 当事業年度 (平成18年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------|--------|-------|--------|--------------------|--------|----------------------|----------|-----------|--------|-----------------|--------|-----|--------|--------------------------|-----------------|-----------------|---------|--------------|------------|-----------------|-------------------|------------------|------------------|---|-------|--------|-------|--------|--------------------|--------|--------|----------|-----------|--------|-----------|--------|-----|--------|-----------------|-----------------|-----------|---------|--------------|------------|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|
| <p>1. 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">712百万円</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">339百万円</td> </tr> <tr> <td>役員退職金にかかる引当金および未払金</td> <td style="text-align: right;">564百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">1,308百万円</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式評価損</td> <td style="text-align: right;">295百万円</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ会員権評価損</td> <td style="text-align: right;">197百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">345百万円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;">3,764百万円</td> </tr> </table> <p>繰延税金負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">退職給付信託設定益</td> <td style="text-align: right;">△766百万円</td> </tr> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">△12,261百万円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right;">△13,028百万円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right;">△9,264百万円</td> </tr> </table> | 賞与引当金 | 712百万円 | 未払事業税 | 339百万円 | 役員退職金にかかる引当金および未払金 | 564百万円 | 退職給付費用 | 1,308百万円 | 関係会社株式評価損 | 295百万円 | ゴルフ会員権評価損 | 197百万円 | その他 | 345百万円 | 繰延税金資産合計 | 3,764百万円 | 退職給付信託設定益 | △766百万円 | その他有価証券評価差額金 | △12,261百万円 | 繰延税金負債合計 | △13,028百万円 | 繰延税金資産の純額 | △9,264百万円 | <p>1. 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">649百万円</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">246百万円</td> </tr> <tr> <td>役員退職金にかかる引当金および未払金</td> <td style="text-align: right;">565百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">1,353百万円</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式評価損</td> <td style="text-align: right;">295百万円</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ会員権評価損</td> <td style="text-align: right;">175百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">303百万円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;">3,589百万円</td> </tr> </table> <p>繰延税金負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">退職給付信託設定益</td> <td style="text-align: right;">△766百万円</td> </tr> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">△16,854百万円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right;">△17,621百万円</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right;">△14,031百万円</td> </tr> </table> | 賞与引当金 | 649百万円 | 未払事業税 | 246百万円 | 役員退職金にかかる引当金および未払金 | 565百万円 | 退職給付費用 | 1,353百万円 | 関係会社株式評価損 | 295百万円 | ゴルフ会員権評価損 | 175百万円 | その他 | 303百万円 | 繰延税金資産合計 | 3,589百万円 | 退職給付信託設定益 | △766百万円 | その他有価証券評価差額金 | △16,854百万円 | 繰延税金負債合計 | △17,621百万円 | 繰延税金資産の純額 | △14,031百万円 |
| 賞与引当金 | 712百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払事業税 | 339百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職金にかかる引当金および未払金 | 564百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 1,308百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係会社株式評価損 | 295百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴルフ会員権評価損 | 197百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 345百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | 3,764百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付信託設定益 | △766百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他有価証券評価差額金 | △12,261百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金負債合計 | △13,028百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産の純額 | △9,264百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金 | 649百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未払事業税 | 246百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員退職金にかかる引当金および未払金 | 565百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 1,353百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係会社株式評価損 | 295百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴルフ会員権評価損 | 175百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 303百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産合計 | 3,589百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付信託設定益 | △766百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他有価証券評価差額金 | △16,854百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金負債合計 | △17,621百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰延税金資産の純額 | △14,031百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">40.7%</td> </tr> <tr> <td>(調整)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">0.2</td> </tr> <tr> <td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">△0.7</td> </tr> <tr> <td>間接外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">△0.8</td> </tr> <tr> <td>試験研究費等の法人税額特別控除</td> <td style="text-align: right;">△2.5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.3</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;">37.2%</td> </tr> </table> | 法定実効税率 | 40.7% | (調整) | | 交際費等永久に損金に算入されない項目 | 0.2 | 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | △0.7 | 間接外国税額控除 | △0.8 | 試験研究費等の法人税額特別控除 | △2.5 | その他 | 0.3 | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 37.2% | <p>2. _____</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法定実効税率 | 40.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (調整) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目 | 0.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | △0.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 間接外国税額控除 | △0.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験研究費等の法人税額特別控除 | △2.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 0.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 37.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(1株当たり情報)

| 前事業年度 | | 当事業年度 | |
|--|---------|--|---------|
| 1株当たり純資産額 | 842円85銭 | 1株当たり純資産額 | 941円97銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 74円40銭 | 1株当たり当期純利益 | 70円94銭 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。 | | なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。 | |

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) | 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 当期純利益 (百万円) | 10,256 | 9,800 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益 (百万円) | 10,256 | 9,800 |
| 期中平均株式数 (千株) | 137,867 | 138,156 |

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、平成18年6月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議し、その決議に基づき、自己株式の取得を行いました。

- | | |
|-------------|---------------------|
| (1) 取得の理由 | 機動的な資本政策の遂行を可能にするため |
| (2) 取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |
| (3) 取得した株式数 | 456,000株 |
| (4) 取得価額の総額 | 1,058百万円 |
| (5) 取得日 | 平成18年6月12日～21日 |

④【附属明細表】

【有価証券明細表】

【株式】

| | | 銘柄 | 株式数 (株) | 貸借対照表計上額 (百万円) |
|--------|----------|----------------------|------------|-------------------|
| 有価証券 | 売買目的有価証券 | トヨタ自動車(株) | 40,000 | 257 |
| | | その他4銘柄 | 80,064 | 159 |
| | | 小計 | 120,064 | 417 |
| 投資有価証券 | その他有価証券 | KDDI(株) | 33,019 | 19,766 |
| | | キヤノン(株) | 1,336,100 | 10,010 |
| | | (株)三菱UFJフィナンシャル・グループ | 2,412 | 4,092 |
| | | オリンパス(株) | 1,029,025 | 3,418 |
| | | (株)りそなホールディングス | 7,118 | 2,790 |
| | | (株)ニコン | 1,421,289 | 2,753 |
| | | オムロン(株) | 400,000 | 1,322 |
| | | (株)小松製作所 | 549,000 | 1,122 |
| | | (株)リコー | 380,245 | 857 |
| | | 大日本印刷(株) | 392,000 | 817 |
| | | ニッセイ同和損害保険(株) | 1,014,510 | 805 |
| | | HOYA(株) | 165,100 | 766 |
| | | (株)九州リースサービス | 1,000,000 | 634 |
| | | リコーリース(株) | 188,000 | 619 |
| | | シャープ(株) | 293,680 | 593 |
| | | (株)アルバック | 110,700 | 505 |
| | | スタンレー電気(株) | 200,329 | 477 |
| | | トヨタ自動車(株) | 43,000 | 271 |
| | | プラスセイコー(株) | 311,000 | 282 |
| | | キヤノンファインテック(株) | 117,806 | 260 |
| | | その他40銘柄 | 1,449,527 | 2,018 |
| | 小計 | 10,443,860 | 54,184 | |
| | | 計 | 10,563,924 | 54,601 |

【債券】

| 銘柄 | | 券面総額 | 貸借対照表計上額 (百万円) | |
|--------|-------------|---|--------------------------|---|
| 有価証券 | | 東京電力債 | US\$ 10,000千 | 1,190 |
| | | アスクレピオス・インベストメント・ ジャパン債 | 1,000百万円 | 1,000 |
| | | フランス国有鉄道債 | US\$ 5,000千 | 585 |
| | | トヨタモータークレジット債 | US\$ 2,000千 | 231 |
| | | 小計 | 1,000百万円 US\$ 17,000千 | 3,006 |
| 投資有価証券 | その他 有価証券 | BTM(Curacao)Holdings N.V. 債 | 1,500百万円 | 1,520 |
| | | NTT Docomo Inc債 | US\$ 5,000千 | 566 |
| | | Nederlandse Watershapsbank N.V. | US\$ 5,000千 | 562 |
| | | 国際復興開発銀行債 | US\$ 5,000千 | 561 |
| | | 欧州投資銀行債 | US\$ 5,000千 | 546 |
| | | トヨタモーターファイナンス債 | US\$ 5,000千 | 519 |
| | | オーストリア国債 | US\$ 4,000千 | 457 |
| | | アフリカ開発銀行債 | US\$ 4,000千 | 450 |
| | | NTT債 | US\$ 3,500千 | 416 |
| | | 日本道路公団債 | US\$ 3,500千 | 396 |
| | | 国際協力銀行債 | US\$ 3,000千 | 372 |
| | | ドイツ復興金融公庫債 | US\$ 3,000千 | 342 |
| | | スウェーデン地方金融公庫債 | US\$ 3,000千 | 336 |
| | | General Electric Capital Corp債 | US\$ 2,000千 | 250 |
| | | アジア開発銀行債 | AU\$ 2,000千 | 160 |
| | | | 小計 | 1,500百万円 US\$ 51,000千 AU\$ 2,000千 |
| 計 | | 2,500百万円 US\$ 68,000千 AU\$ 2,000千 | 10,468 | |

【その他】

| 種類および銘柄 | | 投資口数（口） | 貸借対照表計上額 （百万円） | |
|---------|---------------------------|----------------------------------|-------------------|-------|
| 有価証券 | 売買目的有価証券 | (投資信託受益証券) 証券投資信託受益証券（3銘柄） | 23,969 | 310 |
| | | 小計 | 23,969 | 310 |
| | その他有価証券 | (投資信託受益証券) ダイワMMF | 150,241 | 1,502 |
| | | 小計 | 150,241 | 1,502 |
| 投資有価証券 | その他有価証券 | (投資信託受益証券) フューチャー・オブ・ジャパンファンド | 300,000 | 2,429 |
| | | (不動産投資信託証券) オリックス不動産投資法人投資証券 | 375 | 298 |
| | | その他3銘柄 | 495 | 483 |
| | | 小計 | 300,870 | 3,211 |
| | 投資事業有限責任組合およびそれに類する組合への出資 | MACキャピタル第3投資事業有限責任組合 | 10 | 1,399 |
| | | MACバイアウト・ファンド第1号投資事業有限責任組合 | 50 | 259 |
| | | その他9銘柄 | 34 | 741 |
| 小計 | 94 | 2,400 | | |
| 計 | | 475,174 | 7,425 | |

【有形固定資産等明細表】

| 資産の種類 | 前期末残高 (百万円) | 当期増加額 (百万円) | 当期減少額 (百万円) | 当期末残高 (百万円) | 当期末減価償却累計額又は償却累計額 (百万円) | 当期償却額 (百万円) | 差引当期末残高 (百万円) |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------------------|----------------|------------------|
| 有形固定資産 | | | | | | | |
| 建物 | 13,860 | 3,142 | 127 | 16,875 | 7,386 | 639 | 9,489 |
| 構築物 | 889 | 161 | 61 | 989 | 514 | 47 | 474 |
| 機械および装置 | 10,955 | 2,152 | 435 | 12,671 | 8,772 | 943 | 3,899 |
| 車両および運搬具 | 37 | 11 | - | 48 | 37 | 3 | 11 |
| 工具器具および備品 | 4,635 | 809 | 172 | 5,272 | 3,791 | 648 | 1,480 |
| 土地 | 4,708 | 210 | 0 | 4,919 | - | - | 4,919 |
| 建設仮勘定 | 2,638 | 4,360 | 6,487 | 511 | - | - | 511 |
| 有形固定資産計 | 37,724 | 10,848 | 7,284 | 41,288 | 20,502 | 2,283 | 20,785 |
| 無形固定資産 | | | | | | | |
| 特許権 | 800 | - | - | 800 | 430 | 100 | 369 |
| 借地権 | 39 | - | - | 39 | - | - | 39 |
| ソフトウェア | 1,290 | 1,232 | 35 | 2,487 | 716 | 480 | 1,771 |
| ソフトウェア仮勘定 | 1,071 | 174 | 1,232 | 13 | - | - | 13 |
| その他 | 100 | - | 2 | 97 | 78 | 5 | 19 |
| 無形固定資産計 | 3,303 | 1,406 | 1,270 | 3,439 | 1,224 | 586 | 2,214 |
| 長期前払費用 | 108 | 6 | 6 | 108 | 52 | 23 | 56 |

(注) 1. 当期増減額のうち主なものは次のとおりです。

| 資産の種類 | 増減区分 | 事業所 | 設備の内容 | 金額(百万円) |
|---------|------|-------|-------|---------|
| 建物 | 増加額 | 播磨事業所 | 建屋の建設 | 2,417 |
| 機械および装置 | 増加額 | 播磨事業所 | 製造設備 | 2,149 |

2. 長期前払費用の償却の方法

長期前払費用は効果のおよぶ期間により均等償却を実施しております。

【資本金等明細表】

| 区分 | | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|----------------------|----------------|---------------|-------|-------|---------------|
| 資本金（百万円） | | 19,556 | - | - | 19,556 |
| 資本金のうち 既発行株式 | 普通株式（注）1（株） | (139,628,721) | (-) | (-) | (139,628,721) |
| | 普通株式（百万円） | 19,556 | - | - | 19,556 |
| | 計（株） | (139,628,721) | (-) | (-) | (139,628,721) |
| | 計（百万円） | 19,556 | - | - | 19,556 |
| 資本準備金および その他資本剰余金 | (資本準備金) | | | | |
| | 株式払込剰余金（百万円） | 28,118 | - | - | 28,118 |
| | 株式交換（百万円） | 129 | - | - | 129 |
| | 計（百万円） | 28,248 | - | - | 28,248 |
| 利益準備金および 任意積立金 | (利益準備金）（百万円） | 2,638 | - | - | 2,638 |
| | (任意積立金) | | | | |
| | 配当積立金（百万円） | 30 | - | - | 30 |
| | 別途積立金（注）2（百万円） | 15,950 | 1,700 | - | 17,650 |
| | 計（百万円） | 18,618 | 1,700 | - | 20,318 |

（注）1. 当事業年度末における自己株式数は、1,482,083株であります。

2. 当期増加額は、前期決算の利益処分によるものであります。

【引当金明細表】

| 区分 | 前期末残高 （百万円） | 当期増加額 （百万円） | 当期減少額 （目的使用） （百万円） | 当期減少額 （その他） （百万円） | 当期末残高 （百万円） |
|---------------|----------------|----------------|--------------------------|-------------------------|----------------|
| 貸倒引当金（注）1 | 419 | 15 | 15 | 15 | 403 |
| 賞与引当金 | 1,732 | 1,595 | 1,732 | - | 1,595 |
| 役員退職給与引当金（注）2 | 816 | - | - | 816 | - |

（注）1. 貸倒引当金の「当期減少額（その他）」のうち15百万円は一般債権の洗替額であり、0百万円は債権の回収による取崩額であります。

2. 役員退職給与引当金の「当期減少額（その他）」816百万円は、長期未払金への振替によるものです。

(2) 【主な資産及び負債の内容】

① 流動資産

(イ) 現金および預金

| 区分 | 金額 (百万円) |
|------|----------|
| 現金 | 4 |
| 預金 | |
| 当座預金 | 6,028 |
| 普通預金 | 1,247 |
| 定期預金 | 740 |
| 外貨預金 | 850 |
| 小計 | 8,866 |
| 合計 | 8,870 |

(ロ) 受取手形

(i) 相手先別内訳

| 相手先 | 金額 (百万円) |
|---------------|----------|
| 大日本スクリーン製造(株) | 891 |
| 新藤電子工業(株) | 610 |
| (株)アルバック | 204 |
| ウシオライティング(株) | 162 |
| P I A A(株) | 125 |
| その他 | 2,067 |
| 合計 | 4,061 |

(ii) 期日別内訳

| 満期日 | 平成18年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月以降 | 合計 |
|----------|---------|-----|-------|-----|------|-------|
| 金額 (百万円) | 646 | 753 | 1,194 | 739 | 728 | 4,061 |

(ハ) 売掛金

(イ) 相手先別内訳

| 相手先 | 金額 (百万円) |
|--------------------|----------|
| Ushio Korea, Inc. | 3,283 |
| NECビューテクノロジー(株) | 2,180 |
| Ushio Taiwan, Inc. | 1,120 |
| 日本精工(株) | 1,076 |
| 三菱電機(株) | 856 |
| その他 | 14,036 |
| 合計 | 22,553 |

(ii) 売掛金の発生および回収並びに滞留状況

| 前期繰越高 (百万円) | 当期発生高 (百万円) | 当期回収高 (百万円) | 期末残高 (百万円) | 回収率 (%) | 滞留日数 (日) |
|----------------|----------------|----------------|---------------|---------|----------|
| 22,212 | 63,471 | 63,129 | 22,553 | 73.7 | 129 |

(注) 1. 回収率および滞留日数の算出方法は次のとおりであります。

$$\text{回収率} = \frac{\text{当期回収高}}{\text{前期繰越高} + \text{当期発生高}} \times 100$$

$$\text{滞留日数} = \frac{(\text{前期繰越高} + \text{期末残高}) \times \frac{1}{2}}{\text{当期発生高}} \times 365 \text{日}$$

2. 上記金額には関係会社分を含んでおります。

3. 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しておりますが、上記発生高には消費税等が含まれております。

(ニ) たな卸資産

| 部門別 | 製品および商品 (百万円) | 原材料 (百万円) | 仕掛品 (百万円) | 合計 (百万円) |
|------|------------------|--------------|--------------|----------|
| 管球 | 1,646 | 1,383 | 818 | 3,848 |
| 光学装置 | 386 | 67 | 3,888 | 4,341 |
| 合計 | 2,032 | 1,451 | 4,706 | 8,190 |

② 固定資産
関係会社株式

| 相手先 | 金額（百万円） |
|--------------------------------|---------|
| ウシオライティング(株) | 3,165 |
| ギガフォトン(株) | 2,500 |
| Ushio International B.V. | 2,318 |
| Ushio America, Inc. | 1,638 |
| Christie Digital Systems, Inc. | 1,583 |
| その他 | 1,154 |
| 合計 | 12,361 |

③ 流動負債
買掛金

| 相手先 | 金額（百万円） |
|----------------------|---------|
| りそな決済サービス(株) | 3,198 |
| Ushio Hong Kong Ltd. | 638 |
| 信越石英(株) | 457 |
| 岩谷産業(株) | 239 |
| (株)アライドマテリアル | 198 |
| その他 | 5,065 |
| 合計 | 9,797 |

④ 固定負債
繰延税金負債

繰延税金負債の内容につきましては、税効果関係注記に記載しているため、記載を省略しております。

(3) 【その他】

該当事項はありません。

第6【提出会社の株式事務の概要】

| | |
|------------|--|
| 決算期 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 6月中 |
| 基準日 | 3月31日 |
| 株券の種類 | 10,000株券、1,000株券、500株券、100株券 ただし、100株未満の株券については、その端数を表示した株券を発行することができる。 |
| 中間配当基準日 | ————— |
| 1単元の株式数 | 100株 |
| 株式の名義書換え | |
| 取扱場所 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店 |
| 株主名簿管理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 取次所 | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店 |
| 名義書換手数料 | 無料 |
| 新券交付手数料 | 無料 |
| 単元未満株式の買取り | |
| 取扱場所 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店 |
| 株主名簿管理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 取次所 | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店 |
| 買取手数料 | 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額 |
| 公告掲載方法 | 日本経済新聞（注） |
| 株主に対する特典 | なし |

（注）平成18年6月29日開催の定時株主総会において定款の一部を変更し、公告方法は電子公告によることといたしました。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行なうことといたします。

公告掲載URLは、<http://www.usbio.co.jp/kokoku>です。

第7【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

当社は、親会社等はありません。

2【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に次の書類を提出しております。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類

事業年度（第42期）（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）平成17年6月29日関東財務局長に提出

(2) 有価証券報告書の訂正報告書

事業年度（第40期）（自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日）平成17年12月22日関東財務局長に提出

事業年度（第41期）（自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日）平成17年12月22日関東財務局長に提出

事業年度（第42期）（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）平成17年12月22日関東財務局長に提出

(3) 半期報告書

（第43期中）（自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日）平成17年12月27日関東財務局長に提出

(4) 半期報告書の訂正報告書

（第41期中）（自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日）平成17年12月22日関東財務局長に提出

（第42期中）（自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日）平成17年4月1日関東財務局長に提出

(5) 自己株券買付状況報告書

報告期間（自 平成17年3月1日 至 平成17年3月31日）平成17年4月4日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年4月1日 至 平成17年4月30日）平成17年5月10日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年5月1日 至 平成17年5月31日）平成17年6月3日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年6月1日 至 平成17年6月30日）平成17年7月5日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年7月1日 至 平成17年7月31日）平成17年8月3日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年8月1日 至 平成17年8月31日）平成17年9月2日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年9月1日 至 平成17年9月30日）平成17年10月4日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年10月1日 至 平成17年10月31日）平成17年11月4日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年11月1日 至 平成17年11月30日）平成17年12月2日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成17年12月1日 至 平成17年12月31日）平成18年1月6日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成18年1月1日 至 平成18年1月31日）平成18年2月2日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成18年2月1日 至 平成18年2月28日）平成18年3月2日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成18年3月1日 至 平成18年3月31日）平成18年4月4日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成18年4月1日 至 平成18年4月30日）平成18年5月9日関東財務局長に提出

報告期間（自 平成18年5月1日 至 平成18年5月31日）平成18年6月5日関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書

平成17年 6月29日

ウシオ電機株式会社

取締役会 御中

新日本監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉田 高志 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田中 宏和 印

当監査法人は、証券取引法第193条の2の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられているウシオ電機株式会社の平成16年4月1日から平成17年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結剰余金計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ウシオ電機株式会社及び連結子会社の平成17年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が連結財務諸表に添付する形で別途保管している。

独立監査人の監査報告書

平成18年 6月29日

ウシオ電機株式会社

取締役会 御中

新日本監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉田 高志 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田中 宏和 印

当監査法人は、証券取引法第193条の2の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられているウシオ電機株式会社の平成17年4月1日から平成18年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結剰余金計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ウシオ電機株式会社及び連結子会社の平成18年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が連結財務諸表に添付する形で別途保管している。

独立監査人の監査報告書

平成17年 6 月29日

ウシオ電機株式会社

取締役会 御中

新日本監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉田 高志 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田中 宏和 印

当監査法人は、証券取引法第193条の2の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられているウシオ電機株式会社の平成16年4月1日から平成17年3月31日までの第42期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、利益処分計算書及び附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ウシオ電機株式会社の平成17年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が財務諸表に添付する形で別途保管している。

独立監査人の監査報告書

平成18年 6 月29日

ウシオ電機株式会社

取締役会 御中

新日本監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉田 高志 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田中 宏和 印

当監査法人は、証券取引法第193条の2の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられているウシオ電機株式会社の平成17年4月1日から平成18年3月31日までの第43期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、利益処分計算書及び附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ウシオ電機株式会社の平成18年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が財務諸表に添付する形で別途保管している。